第４回セッション 「誘惑」

Ｒ１５縛りと闘いつつ・・・

今週のお題

開催中：　！

投稿受付中：　投稿受付期間外

Column Land

■ラストセッション「！」オープン。運命のラストバトル、さいごに笑う者は誰？コメント・投票は10月6日（月）朝6時までです。
■宇宙船クルー応募、12人目は、ついにレディ。わあい♪

テーマ：誘惑

投票総数：161件

順位	ポイント	投票数	作品タイトル	作成者	作者コメント	コメント数	最新投稿時間
1位	31	15	一夜の誘惑	SOta	有	14	9/22 21:8
2位	27	11	絵の中の海	白磁	有	15	9/24 23:41
3位	20	11	テレーゼの唄	やまのかめさん	無	14	9/24 15:24
4位	17	10	なつきさんとの出逢いと別離れ	to　洋灯	有	20	9/25 3:53
5位	16	11	罠に誘われ	浅間ぱんだ	有	23	9/25 0:42
	14	10	誘惑者	halcyon	有	20	9/25 0:28
	14	8	真っ赤な甘い毒林檎	laket	有	22	9/25 0:57
	14	10	NO PANTS, NOT PANTSU!!	bfs（ぱんつ）	有	27	9/24 22:31
	10	8	誇り高きネペルタシア	Albino（ウツボット）	有	24	9/25 0:50
	10	5	誘惑のススメ	バケネコ	有	20	9/25 0:36
	9	5	ひぐらし論	春	有	19	9/25 0:32
	9	7	『僕と話しても構わないなら、4時に教室に来てください』	s.o.u.p.	有	17	9/24 21:2
	8	6	巧妙な罠	カッシーニの空隙	無	18	9/25 4:58
	8	3	最後に僕は泣いて『ごめんなさい』と呟いた　もう伝わることは無いのに	弟子	無	16	9/25 0:29
	7	5	虜囚	神代千早	有	13	9/25 5:27
	7	3	これをクリックしてはいけません。	ノア	有	22	9/25 0:44
	6	3	世界は誘惑だらけだっぜ	葉月	有	13	9/24 2:51
	5	4	CDを買わせろ！	カゲヤマ	有	27	9/26 22:53
	5	4	グレーの瞳に射抜かれて	greenbard	無	17	9/25 4:1

5	2	やるなよ！ぜっったいやるなよ！！　～THE 日記～	石花	有	12	9/24 23:5
4	3	とある雑誌社に届いたFAX	ニャルラトホテップ	有	15	9/24 22:14
4	3	パンツがチラっとするとなぜ見てしまうのだろうか	evolv	有	19	9/24 22:6
4	3	哺乳類と鳥類の間	黒猫	有	12	9/24 4:26
4	2	敵は・・・にあり！！	ひま人	有	14	10/3 10:46
2	2	かまって欲しいの	城山	有	14	9/23 22:51
2	1	ライン	EtOH	有	21	9/25 0:53
2	2	死の誘惑	floccinaucinihilipilification	有	17	9/22 17:40
1	1	ジューシーチキン赤とうがらし	みーちゃん	有	9	9/23 0:56
1	1	目撃したこと	太祖武帝	有	13	9/24 11:22
1	1	あなたを待てば雨が降る	パンリコ	有	9	9/21 0:23
1	1	そこにある誘惑	八剣	有	9	9/22 19:11
0	0	「おやすみ。」	BELIAL	有	17	9/25 5:17
0	0	失楽園異聞　　Centrel　ｏｆ　Audan	柚子(ゆうこ)	有	14	9/24 6:33
0	0	could not receive	森　武	有	10	9/25 1:3

一夜の誘惑

総合順位：1位
合計ポイント：31 Point
作者：SOta
作者コメントを読む

すーすーと、寝息が聞こえる。掛けられた毛布からは、しっとりと汗ばんだ綺麗な足がつき出ている。ほんのり上気した顔、そこから目をそらすように、僕は窓の方へ目を逸らした。
「んぅ……、ん」
悩ましげな声が時折、薄紅色の唇からこぼれる。時計の音が、コチ、コチと、うるさいくらいに頭の中に響いて、思考を鈍らせる。この状況、例えば誰かが今この部屋へ入ってきたら、間違いなく誤解されるだろう。

この人、詩織さんは、ここの安アパートの隣の部屋に住んでいる女性だ。僕よりも年上で根っからの世話好きらしい彼女は、今年の春に大学生になってここへ越してきた僕の事を、よく気にかけてくれた。一人暮らしに慣れない僕に、買い物や片づけのコツを教えてくれたり、今日はこの店で卵の特売、とかいう情報を教えてくれることもあった。詩織さんにとって僕は、世話の焼ける弟みたいな存在だったんだろう。
そんな詩織さんが顔を真っ赤にして酔っぱらいながら僕の部屋へ入ってきたのだ。

「ただい、まぁ……」
そう言いながら彼女は入ってきた。これ程に酔った詩織さんは見たことがない、いや、酔っているところ自体見たことがなかったかもしれない。おそらく隣と間違っていたんだろう。ふらふらとベッドへ歩いていくと、ばふっと倒れてそのまま寝入ってしまった。

そんなわけで今に至る。一応上から毛布を掛けてはみたが、寝返りを打ったときに絶妙な具合にはだけて、かえって艶めかしい構図を作り出していた。明かりを消して床で横になるが、眠れない。しばらく詩織さんの寝息と時計の音に悶々としていた。
ぱさりと音がした。目を凝らして見ると、毛布が床に落ちていた。体を起こして毛布を拾い、顔を上げる。暗闇の中にぼんやり浮かぶのは、普段しっかりしていて隙のない詩織さんの、無防備な姿――

――詩織さんって、こんなに女性らしい身体付きだったんだ……
そんな考えが頭をかすめる。今まで、詩織さんとの関係の間には一線を引くようにしていた。今の関係を保っていたかった。しかしここには、ただ女性としての詩織さんがいた。

――今、この体に触れたら、どうなるだろうか？
寝息が、匂いが、暗闇が、理性の働きを鈍らせる。抑えていた感情が溢れ出てくる。

――人肌は、やっぱり暖かいんだろうか？両腕で抱きしめたら、柔らかいだろうか？
いやいや、何を考えてるんだ僕。これじゃただの変態じゃないか。いくらこんなに無防備だからって、無防備……

――じゃあ少し、ほんの少しだけ、頬に触れるくらいなら……
そうか、それだけなら、そのくらいなら……

「嫌ぁ……」

　心臓が飛び出るかと思った。しかし起きた様子ではない。それはこう続いた。
「離れたくないよ……」
　その目尻には、うっすらと涙を浮かべていた。

　呆然としていた。そうだ、なぜ考えなかったんだろう。詩織さんがこんなになるまで飲んでいた理由を。どうして考えなかったんだろう。こんな素敵な人に、彼氏がいない訳がないということを。さっきまでの自分が信じられないほど、落ち着いてしまっていた。ここは、僕なんかの出る幕ではない。
　起こさないよう、静かに毛布をかけ直すと、僕は横になった。しばらく寝られそうにはなかった。だけど、不思議と涙は出なかった。

　目が覚めたのは昼過ぎだった。そこに詩織さんの姿はなく、代わりに一枚の書き置きがあった。

「いくじなし」

　詩織さんはアパートからいなくなっていた。大家さんに尋ねると、こう返事が返ってきた。
「先週突然、青森への転勤が決まったらしい。今朝荷物を持って出ていったみたいだよ。それより、あんたその口紅どうしたんだい？」
　慌てて部屋で鏡を見ると、僕の唇はほんのりと薄紅色に光っていた。

作品印刷　　コメント印刷
作品に対するコメントを下さい。
コメント登録

投稿者	コメント
to　洋灯 9/16 0:19	ストレートに誘惑なのに、なんだかものすごく綺麗ですね。 このまとめ方も秀逸です。つーか好みです。
石花 9/16 1:36	いくじなしー ハッピーエンドが好きなので好みではないですが…キレイでスマートです！
ノア 9/16 7:0	部屋には鍵をかけた方がいいですよ。
me 9/16 14:12	私はこのすれ違い感、結構好きです。 彼の部屋にきた詩織さんが、どういう気持ちでいたのかなぁとか、考えちゃいます。
城山 9/16 15:51	全体的にきれいだなぁと感じました。 葛藤の末思い直して手を出さなかったいくじなしの主人公も僕には好印象です。詩織さんの事を考えてのものですよね。 でも詩織さんは弟なんて思ってなかった、手を出して欲しかった、ってことですか。悲しいすれ違いです。
カゲヤマ 9/16 17:25	おお！最初の2行くらいを読んだときには 「なんだ、コテコテの女性誘惑ものか・・・」 と思ったものですが、なんですかこの終りの清々しさは！ 「いくじなし」って置手紙が詩織さんのツンデレさというか、かえっていい性格に感じるのが憎らしいですね。
EtOH 9/16 20:56	きっと僕は主人公以上に意気地無しです・・・。この主人公は確かに好印象ですね。 きっとこのあと走って追いかけるんですよっ！きっとそうですよっ！ね？

太祖武帝 9/16 22:30	誘惑からきれいにまとまってよかったと思います。心理描写も適切だったと思います。「いくじなし」の置き手紙は小説ではよくありそうですがこの場面では結構決まっていますね。
柚子(ゆうこ) 9/17 7:27	詩織さんの気持ちが痛いほどよ～く実感できる　お姉さま　の私としては、「何をしていたの」と言いたい。詩織さんと主人公の性格が良く分かり、楽しめました。 この2人をどのようになさるおつもりですか？・・・作者様　このままでいいの？
halcyon 9/17 11:58	うーん…詩織さん、わがままますぎません？言われなきゃ分からない事だってあるでしょうに。まぁ、個人的感想ですけど。 流れがすらっとしていてまとまりもいいですね。 主人公、頑張れ。今から青森行ってこい。(笑)
神代千早 9/17 12:22	何かラブコメにでもありそうな展開ですね。それだけにストーリーは安定感があります。文章もそつなくこなせているのになぜか習作のような感じを受けてしまいました。安定しすぎなんですかね。何にでも意外性を求めてしまうのはコラムランドに毒されているのか何なのか。 そうは言っても、物語がまだ完結していないという展開もありうるので、次の展開を求めたくはなりました。
s.o.u.p. 9/18 22:38	きっと作者さんは最初から最後まで「誘惑」を大プッシュしてたのでしょうね。 と思ってしまうくらいに良くできた作品だと思いました。どうやってストーリーを練っているのかが気になってしょうがないです。
未草 9/20 22:51	綺麗ですね。 詩織さんが「青森」に行ったのには何かあるんですかねぇ？適当に決めただけでしょうか？
floccinaucinihilipilification 9/22 21:8	美しく纏まっていますね。お題も自然に使われていて違和感がなかったです。 すっかり騙されちゃったのは他作品の主人公が誘惑に負けすぎだから、と結末を読めなかった自分を慰めます。

ＴＯＰへ

絵の中の海

総合順位：2位
合計ポイント：27 Point
作者：白磁
作者コメントを読む

私のお母様は、それはそれは美しい、まるで月のような方でした。

今でも私は、海辺の小さな家に住んでいたころのことを思い出すことがあります。お父様とお母様だけが居た私の幼年時代。と言っても、お父様は一人だけではありませんでした。
――さあ、こちらが新しいお父様よ。ご挨拶なさい。
二年か三年に一度の割合で、お母様は新しいお父様を海辺の家に連れていらっしゃいました。その時にはもう、前のお父様の姿は、その気配すらひっくるめて影も形もなくなっているのです。私は子供心にも、それを不思議とは思いませんでした。
――やあ、初めまして。可愛らしいお嬢さんだ。
新しいお父様はいつもそう微笑みます。お父様たちは皆、優しげな目を細め、お母様をまぶしそうに見ていました。実際お母様の姿は、ぴんと張りつめた弓を思わせる三日月のようでした。

お母様のお仕事は、白いカンヴァスの上に絵の具を載せてゆくことでした。朝から夜まで、北向きのアトリエで絵を描き続けるのです。時々はうたたねをし、時々は海辺に散歩をしにゆきました。何人目かのお父様が、画架の描きかけの絵を指してこう言ったのも、お母様がアトリエの隅ですやすやとおやすみになっていた時のことです。
――この人の描く絵は、アンリ・ルソーの絵を思わせるね。ほら、夜明けの白々とした空なんて、はっとするほど美しい。……何だか目まいがしてくる。まるで、絵の中に引き込まれるようだよ。
思えばそれは、二人の間でささいなすれ違いが積み重なっていたころのことでした。お父様とお母様の言い争う声で夜中に目を覚ましたのも一度や二度ではなかったはずです。ある朝私は目覚めて、家の中にお父様が居ないことに気づきました。アトリエに向かうと、窓からお母様が海をながめているのが目に入りました。
――お父様はね、遠い遠い国へ行かれたのよ。海の向こうの遠い国へね。
お母様は聞かれもしないのにそう答えて、また虚ろに海へ目をやりました。
――因果なものね。大事なものを失くしてしまわないように描いてゆくのに、本当に、閉じ込めてゆくような気がするの。
お母様はそう呟かれて、まぶたを閉じました。ふと私はカンヴァスの中の風景に、新しく小さな人影がひとつ描き込まれているのを見つけました。――ああ、お母様は誘惑に負けてしまったのだ。私はそう悟り、そっと、カンヴァスから視線を外しました。
いつまでも続くかのように思われた私の幼年時代は、ある日お母様の失踪によって幕を閉じました。解らない、解らない、どうしても解らない。大人たちにお母様の行方を尋ねられた私は、そう答えたといいます。アトリエにはただ一枚、白い絵の具を塗りたくったカンヴァスが残されていました。

結局私に残されたのは、その白い絵一枚きりでした。そのうち私は、絵をながめているうちに、おかしなことがあるのに気がつきました。
絵の中に、まるで海が満ち潮と引き潮を繰り返すように青い色が広がり、それにつれて水平線から月が現れ

ては消えるのです。月は本物のように満ち欠けし、心なしか微かな光さえ放っているようでした。
　どうしてお母様は、私もそのカンヴァスの中に閉じ込めてくださらなかったのでしょう。
　今でも時々、私はその絵を見てはそう考えることがあります。それと共に、お母様の中に広がっていた茫漠たる海のことを、思わずにはいられないのです。

作品印刷　　コメント印刷

作品に対するコメントを下さい。

コメント登録

投稿者	コメント
柚子(ゆうこ) 9/15 17:15	「お母様は（が)～」と表現と、柔らかな文体でこの作品のただならない様子を適格に表しています。読んでいてゾクゾクしました。
神代千早 9/15 17:46	一種のファンタジーでしょうか。作品中の事実として月の満ち欠けがあるのか、主人公の心の中だけにそれがあるのかはたぶんどちらでも良いのでしょう。 絵に記憶（ないしは存在そのもの）を封じ込める形式の話は珍しいとは思いませんが、語り口と整合性があって、中身の合理的解釈にたどり着けないのは確かですが、良い作品に仕上がっていると感じました。
石花 9/15 22:15	なんていうか、わけわかんないのに整合性がとれてて完成度高すぎというか、とにかく凄いです。
パンリコ 9/16 18:27	このお母様はどんな誘惑に負けたのでしょうか？ なかなか手ごわい文章です。 どうしてお父様がたびたび替わりその後気配は影も形もなくなるのでしょうか？ どうして何人目かのお父様が遠い国に行ったあと、カンバスに新しく小さな人影が描かれたのでしょうか？ ウーン、ここは名探偵コナン君にご登場ねがって・・・・・・って考えすぎですか？ 作者コメントよろしくお願いします。
EtOH 9/16 21:15	確かに細かいところ説明がなくて分からないんですんですけど、それでもすんなり話には入れました。ファンタジーですね。 ほんと、作者コメント楽しみですね。
城山 9/16 22:3	母が居なくなるのが何故白い絵なのかが僕には読み取れませんでした… 絵の中に人を閉じ込めるファンタジーなのか、それの暗喩する何か別のことが起こっているのか。 何だか深そうな作品ですね。
カゲヤマ 9/16 23:2	水面を思い起こさせるようなきれいな描写、ステキです。 誘惑？真っ白なカンヴァス？ よくわからないけどとりあえずステキ。そんな風に思えてきます。
halcyon 9/16 23:10	お父様方は絵の中に閉じ込められてしまったんだろうな、と自分は読みました。 次々現れるのは、恋多き女だったから、とか。（よく似た雰囲気でそういう設定の小説を知っているので、そのせいかも知れませんが） 「メトロポリタン・ミュージアム」を連想したのは自分だけ？
to　洋灯 9/17 21:33	なんだか不思議な話ですね。語り口の柔らかさが作品の雰囲気ピッタリです。 結局、お父様を絵の中に引き込んでいるのですね。 そんでもって お母様＝月 ってことですよね。 ＞halcyonさん 私もです。「♪大好きな絵の中に・・・」ですね。 子供心にあの歌は怖かったです。
kate 9/19 9:5	作品に吸い込まれていくように夢中で読んでました。完成度高いですね。

バケネコ 9/20 12:8	『絵を描くこと』で済んでしまう部分を、わざわざ『白いカンヴァスの上に絵の具を載せてゆくことでした』という詩的な表現に置き換えているところが、とても好きです。また雰囲気もしっかりかけていて、作者の文章の高さがよく伝わってきました。
葉月 9/24 1:42	綺麗です。余韻も残ります。タイトルも惹かれます。素晴らしいのです。 完全に僕の好みに合致しました。ケチをつける場所はございません。いい作品をありがとうございます。お見事でした。
やまのかめさん 9/24 11:2	この文章で大切なのはお話の整合性だなんだよりも幻想的な雰囲気だと思うのですよ。その点、語り口も話の進め方もとても良く、しっとりとお話に浸ることができました。すばらしいと思います。 というわけで雰囲気はいいのですが、ただ「お母様」の心情やその絵との繋がりについては掴めた気がしません。最後に残った絵が白い絵の具で塗りたくられているのはどういうことなのでしょうか。お母様の中の茫漠たる海とはどういうことなのでしょうか。
s.o.u.p. 9/24 14:45	何度読んでも飽きませんでした。読者が想像しようとするといくらでも想像できそうですね。 ＞いつまでも続くかのように思われた私の幼年時代は、ある日お母様の失踪によって幕を閉じました。 こういう言い回しが特に好きです。
floccinaucinihilipilification 9/24 23:41	なんとなくきれい、なんですが、全体がぼやけていて何とも言えないままに読み終えてしまいました。 作者コメントがないと理解できそうにないです……

ＴＯＰへ

テレーゼの唄

総合順位：3位
合計ポイント：20 Point
作者：やまのかめさん
作者コメントはありません。

ヒルデスハイムのテレーゼ嬢
今日も今日とて浮かぬ顔
首を傾げてシャルロッテ
どうなさりましたのお姉さま
今宵一夜の宴の席に
さようなお顔は似合いませぬよ
ほらお慕いのフランツ様も
あちらの方にいらしてますよ？

背中を押されテレーゼ嬢
今日の機会にこの想い
告げてしまってよいものかしら？
いえいえそんな、はしたない
淑女たるもの慎み深く
お澄まし顔で通り過ぎ
空は藍色、星高く
溜め息一つシャルロッテ

ヒルデスハイムのテレーゼ嬢
今日も今日とて困り顔
どうなさりましたのお姉さま
首をかしげてシャルロッテ
あらそういえば、もうじきに
フランツ様の誕生日では
あと幾日もありませんけど
贈り物など致しませんの？

問いかけられてテレーゼ嬢
想いを託しあの方へ
私の方から贈り物？
いえいけません、はしたない
淑女たるもの慎み深く
想いは胸に秘やかに
空は霞に、風も無く
溜め息一つシャルロッテ

ヒルデスハイムのテレーゼ嬢
今日も今日とてそぞろ顔
どうなさりましたのお姉さま
溜め息ついてシャルロッテ
実は私もフランツ様を
お慕い申してきましたの
お姉さまがなさらぬのなら
想いを告げてしまおうかしら

実はこれから薔薇園で
フランツ様と約束が
良い機会かもしれませんわね
微笑み出かける妹に
驚き惑うテレーゼ嬢
我にもあらず立ち尽し
空は薄雲、雨そぞろ
構わず行かんシャルロッテ

ヒルデスハイムのテレーゼ嬢
今日珍しく慌て顔
顔を赤らめ小走りに
妹追いかけ薔薇園へ
息を弾ませ裾たくし上げ
物も覚えず小走り行けば
雨上がりたる花園深く
なぜかそこにはフランツ一人

言葉も忘れテレーゼ嬢
想い人より告げられし
いらして下さり嬉しいですと
思いもかけぬその言葉
淑女似げなく狼狽えつつも
テレーゼ嬢は頬染めて
空も薔薇色、花も映え
溜め息一つシャルロッテ

作品印刷　　コメント印刷
作品に対するコメントを下さい。
コメント登録

投稿者	コメント
春 9/15 18:11	ポンポンポンと歌うように物語を進めていって、最後は綺麗に収まりがつく。 素晴らしい作品だと思います。
石花 9/16 0:59	良い妹ですね～ テンポもいいし、美しいし、凄いです

ノア 9/16 8:12	８行×８連。凄まじく起承転結ですな。 お題の「誘惑」との関連性が薄い気がするけれど、なんとなくそれっぽいからまぁいっか。
カゲヤマ 9/16 16:16	どなたか音楽のセンスがあるかたいらっしゃいませんか？ 歌詞の転用はマネージャーを通してお申し込みください。（ウソ）
城山 9/17 14:5	すごく上品にテンポ良くまとまっていますね。 頭の中にはコルセットの効いたドレスに縦ロールのテレーゼとシャルロッテが浮かびました。
halcyon 9/17 14:19	数行ほどリズムが狂っている行があったのが凄く惜しい。もったいない。ほんともったいない。 マザーグースのテンポに似てますね。「誰が駒鳥殺したの」の系統。こういうの大好きです。
to　洋灯 9/17 18:56	物語の展開といいこのリズムといい、サクッと読めますね。 シャルロッテ溜め息しすぎー、なんて野暮なことは言いません。 ちなみに、名前はベートーヴェンの『テレーゼ』から？なんて考えてみたり。 確か、長女テレーゼ、長男フランツ、次女ジョセフィーヌ、末女シャルロッテじゃなかったかな・・・なんて。 結婚していたかどうかには自信ないです。
神代千早 9/18 8:8	テンポがいいですね。人物は実在でしょうか。地名は見つかりますが、人物が見つかりませんでした。ともあれ、人物は誰でも成立しそうな話ですので、どうでもいいのかもしれません。 こののりでどろどろ三角関係を演出ということは無いでしょうから（あったらあったで読んでみたくはありますが）、話の筋立てとしてはそう新鮮味はありませんが、童謡のような形でその地域の歴史の一部が伝え聞かされている光景を思い浮かべることができますので、うまくまとまった作品かと思います。
パンリコ 9/18 16:58	とても心地よい響きで素晴らしい作品です。 たくさんついた溜め息の 最後の一つはシャルロッテ あなたのかなわぬ恋心・・・・・・ですか？
未草 9/20 20:7	すごい。ほんとに歌みたいにするする文章が入ってきました。
葉月 9/21 17:6	曲がついてもいいくらいのテンポですな。ポンポンと読めるあたりが既に高評価です。 なんか、すごい普通にハッピーエンドで癒されました。こういうのも大切！　いい文章です。
floccinaucinihilipilification 9/22 23:36	今までの4回の中で一番芸術的かも知れませんね。 小難しい表現もさらりと使いこなしていて、非常に情景が浮かびやすかったです。
s.o.u.p. 9/23 1:6	＞どうなさりましたのお姉さま なんか躓いてしまいました。字数が合ってない気がします。というより、こういう口調のときは「どうなさったのお姉さま」の方が自然だと思ってしまいました。もう少し他にやりようがあったはずなのに……！(意図が隠されていたのならごめんなさい) ストーリーから何から、よく作られていると思います。だからこそ……！なんで躓いたんだ、自分！
halcyon 9/24 15:24	＞s.o.u.pさん 同じところで自分も躓きました。 あと、「お姉さまがなさらぬのなら」とか。

ＴＯＰへ

なつきさんとの出逢いと別離れ

総合順位：4位
合計ポイント：17 Point
作者：to　洋灯
作者コメントを読む

2005-04-13

未知との遭遇

今朝は　Nice To Meet You霊 でした。

・・・目は覚めてます(´Ａ｀)

大学にシースルーな女子大生(←多分)がいたんです。
目が合ったら、家までついてきました・・・。

あ！幻覚でもないよっ(; ´Ｄ｀)ノ

知ってのとおり、俺は今年、大学生になりました　(⊃Ｄ Ｔ)みんなありがとね。

でさ、実は入学式前に新入生が一人亡くなってたのね。
たしか交通事故だったかな？(噂だけど)

ええ、どうやらその子なんです。　　俺の直感ってすげー。

で、曰く、「合格目指して頑張ってきたのに、いきなり死んじゃったから・・・(..　)」成仏できないらしい。

で、　・゜・(∩Д∩)・゜・　ですよ。

知ってのとおり、俺は中高男子校だったわけだ。当然彼女はいなかった。

ええ、野郎達からラブレターをもらったことはありましたよ。丁重にお断りしました。

んで、大学で彼女つくるぞーって意気込んでたらコレだよ(´A｀)

幽霊つきで彼女が出来るかーヽ(｀Д´)ノ

さっさとお引取り願いたいし、なつきさん(あ、この子の名前ね)の成仏を手伝うことにしました。(-_-；)

俺と会う前ずっと大学をさまよっていたらしい。大学生活は満喫したから、今度は遊びたいんだと。

さっさと成仏してくれ(ＴДＴ)

2005-04-18

なんかもう、いろいろとツライ

つきあってきました。未練に。

本日は、渋谷109でお買い物ですよ。傍目には一人で。

やばいっ！　俺かなりイタイ！　ヽ(;´Д｀)ノ

そうなんだよね、普通は見えないんだよね、なつきさんは。

男一人の渋谷109はかなりの荒行(←誇張ではない)だったわけだが。

結構楽しんでいたみたいだけどさ、俺はものすっっっっごく居心地悪いんですけど！！

他にもあちこちに連れて行かれました　orz

その後は映画なわけだ。まさかの『ハウルの動く城』ですよ。
くどいようだが、男一人で、だ。

なつきさんの要望により、二人分お支払いしましたが。(⊃Д T)

まぁ・・・ね、映画観て涙ぐんでるのをみると、ちょっとは心が動いたりしたけど・・・

あれ？これってデートじゃね!?　Σ(゜д゜;)

2005-04-20

お誘い

なんだかんだありましたが、なつきさんも納得してくれたようです。(´▽｀)

そろそろ、成仏して下さい・・・

告られました。　（　゜　3゜）：；*.!：；

やばいよ。まさかの誘惑だよ。

一緒に来てって・・・・え!?(((（;゜Д゜)))

まずいよ。多少心が動いている俺がいる。

で、でも、でもでも、やっぱり命は惜しい！

ある意味初めての彼女だったけど、結果的に振っちゃいました。
すんごい罪悪感。

せめてどこで眠っているか教えてもらいたいって言ったら、
消え際にちょっと微笑んで教えてくれました。

残酷だよね・・・俺。

2005-04-21

無題

一応、なつきさんの墓を見つけることは出来ました。

墓石に新しく刻まれていた名前は「夏木正夫」でした　orz

作品印刷　　コメント印刷

作品に対するコメントを下さい。

コメント登録

投稿者	コメント
八剣 9/15 10:50	シースルーな女子大生なんていうから胸とか透けて見えてるのかと思ったら・・・男ですか。
柚子(ゆうこ) 9/15 11:58	最後でわぁーですね。貴重な体験をなさいました。きっと美形だったのでしょう、
EtOH 9/15 14:4	あぁ、なるほど。「大学にシースルーな女子大生(←多分)がいたんです。」って・・・こういうことか。
ビーフステーキ 9/15 22:57	顔文字が面白い。このくらい軽いノリだと顔文字も効果的だなあ。 # 109に何しにいったんだと思ったが、そうかカマか。
石花 9/16 1:22	なんか毎回一個は薔薇な話があるような… テンポよかった。どんだけ美青年なんだろ、ナツキさん
ノア 9/16 5:47	無理に誘惑という単語を使う必要はないと思いますよ。 それにしても半透明ってシースルーと言うのか
城山 9/16 11:2	顔文字のノリで心情がより伝わりますね。文に馴染んでて面白いです。 彼女いや彼自身がシースルー。つい纏っている物がシースルーの方で読んでしまいますよね（笑）
s.o.u.p. 9/16 12:6	相手が幽霊だとフルネームって気にならないですよね。ナイスミスリードだと思います。 なつきさんは「私、男子校出身です」なんてこと言いませんでしたか？
カゲヤマ 9/16 22:41	大笑いしました！おとさなくても話が完結してるのに まさかの薔薇オチで、主人公はそんなに男にもてるんですね。 顔文字もノリがよくていいです。 ＊すいません渋谷109ってなんですか？田舎もんなんでよかったら教えてください。
石花 9/17 9:8	>カゲヤマさん その名の通り、渋谷にある109という名前のファッションビルです。地下2Ｆから８Ｆまで、その全てがレディースかアクセサリーか、あと食事というすごいとこです。男性用トイレは二階おきくらいで3つしかありません。姉妹店に109-2という全部メンズのものも徒歩数分であります。
春 9/17 9:57	横書きだからこそ使える顔文字を利用する考えは素晴らしいと思います。 最後無理に落とさないでも、主人公の軽いノリを使ったしみじみとしたいい話に出来たんじゃないかなぁ、と思ってしまいました。

halcyon 9/17 14:23	ラストの「orz」が痛ましいこと痛ましいこと（こっちは楽しいですが）。 ブログ風のフォント使いで、小説より実話っぽく読ませるのに成功していると思います。ブログの嘘日記みたいな感じ。
no price 9/17 14:41	最後の落ちが独特で面白かったです。 ただ、ラストだけが文章が少し軽すぎるような印象もありますが、 そこも味なのかもしれません
神代千早 9/18 8:6	一週間ほどの出来事ですか。なかなか展開が速いですね。2005年なのは何か意味があるのでしょうか。作者さんの入学年度で全部実話だとか。 顔文字もこれだけ変化に富んで語り手の心情を割りとうまく表現できているように感じると、効果的なのかもしれません。そのうちそういう文芸作品も出てくるのでしょうか……と思っているともう出てたりする世の中かもしれませんが。 軽い語り口は作風にマッチしています。改行の開きっぷりはやっぱり居心地悪く感じてしまいますが、この作品には必要なのだと思うことにします。
やまのかめさん 9/21 12:18	最後にorzとあるのは、相手が男だということに最後まで気付いてなかったということなんでしょうか。それはそれでちょっとなんだかなー！ 容姿でも口調でも声でも(霊だけど)気付かないなんて、そんな男がおるかーっ！ なつきさんはニューハーフだったのでしょうか。 文章自体はノリよく楽しく読めました。顔文字が効果的ですね。改行については、私もみんな改行使いすぎなんじゃないかと気になっている方だと思うのですけれど、実は本作品では不思議と気にならなかったのです。結局のところ、作者さんの想定している読ませるペースと、読み手としての読むペースとの、適合の問題なのでしょうか。
カッシーニの空隙 9/22 12:59	いいノリですよね。 まぁ、男だと分かったのでは　とかいうことは気にしないで行きたいです。霊という概念的なものだから外見くらい操作できるかもしれないし。　作者さんはそこまで考えてたのかな。 顔文字の持つ雰囲気が統一されていていいと思います。 これでもし顔文字の系統がバラバラだったりするともっと読みにくくなってしまう気がしました。
カゲヤマ 9/22 22:21	遅くなりましたが石花さんありがとうございました。 とりあえず「全部レディスかアクセサリーか」というとこが納得です。 私にはいろいろな意味で縁遠そうなかんじですが・・・。
imt14 9/24 21:59	顔文字良いなぁ。こういうのだよ、こういうの。
floccinaucinihilipilification 9/25 0:7	ケータイから投稿した設定でしょうか。 空白の量や採用した顔文字がとにかくリアルで本当にこんな日記が見つかってもおかしくないんじゃないかと思いました。
浅間ぱんだ 9/25 3:53	確かに、「りある」とかブログとかにありそうな感じですね。 それゆえ、(普通の文章としては)過多な改行も気にならずスッと読めます。

ＴＯＰへ

罠に誘われ

総合順位：5位
合計ポイント：16 Point
作者：浅間ぱんだ
作者コメントを読む

19XX年X月X日未明、第七分隊の隊員十余名は敵軍基地への潜入に成功した。
友軍の攻撃により基地はほぼ壊滅状態で、敵軍の存在は確認できない。

「曹長！ 敵の落し物と思われる物体があります！」
「気をつけろ！爆発物かもしれん！」
「アッ！中に食い物が入ってますよ！」

数日間歩き続けた隊員は皆疲労困憊し、そしてその空腹は極限に達していた。

と、その時。

ピカッ！！！

全員が閃光弾だと思ったが、部屋のライトが点けられただけだった。
驚いて数名の隊員が隣の部屋へ退避したようだ。ライトを点けた敵軍の気配はない。
そして曹長が隣室の隊員と連絡をとろうと試みた時、悪夢は始まった。
いや、この作戦自体が悪夢だったのかもしれない。

シューーーー

「うがぁぁぁぁ！！！毒ガスだ！！！うわぁぁぁぁぁぁ！！」
「俺にはまだやり残したことが……あ…あぁ…あ……」
「逃げろぉぉ！！敵はっ……うっ……」

隣室から悲痛な叫びが聞こえてきた。曹長は慌てて指示する。
「おぉおおぉ落ち着けぇ！あぁあ慌てずにかかあの机の陰に隠れるんだ！」
「曹長！落ち着いてください！」
「私は落ち着いている！」
カサカサカサカサ……

フッ

部屋のライトが消され、敵軍は去ったようだ。
曹長は人員確認を行なう。十余名いた隊員は4人まで数を減らし、自分を含め5人しか残っていなかった。

「ところで曹長」
「なんだ」
「先ほど発見した敵の落し物、自分が確認して来ようと思うのですが」
そこへ別の隊員が割り込む。
「おい貴様、そう言って中の食い物を独り占めする気だな！」
「まぁ落ち着きなさい、空腹は皆同じだ。それに、あれは敵の罠かもしれないじゃないか。その程度の誘惑に負けてどうすりゅ。俺たちは第75ドリル師団の漢の中の漢じゃないのか？漢たるもの、ゆうやく振り切って我慢せねばならん時があるのだよ。」
(曹長、相当キテるな……)
(なんだよ、ユウヤクって……)

「曹長！もう自分は我慢できません！確認してきます！」
「おい、待て！亀田、戻れ！」

……

「曹長！食物に異常はありませんが、足元に粘着質の物質が撒かれていて動けません！」
「だから罠だと言っただろう！」

シューーーーーーーー

こうして、第75師団第七分隊の隊員は全滅した。

多くは毒ガスによる中毒死、1匹だけが旧式の罠に嵌り餓死。
そして分隊長である曹長は仲間が全て倒れても戦い続け、最期はスリッパに潰され殉死したのだそうだ。

作品印刷　　コメント印刷
作品に対するコメントを下さい。
コメント登録

投稿者	コメント
八剣 9/15 10:8	ゴキブリですね。ベタですね。 色々と伏線が入っているわりに最後にわかりやすい形での描写が入っているのは好印象。
EtOH 9/15 11:38	毒ガスのあたりで、ゴキブリだというのはなんとなくわかったのですが、八剣さんのいうように最後の描写がわかりやすくて、あぁ、やっぱりゴキブリだった。と気持ちよくおわれました。 文章も読みやすかったです。
SOta 9/15 14:45	やっぱり代ゼミネタ使う人いるのか……。
柚子(ゆうこ) 9/15 17:56	隊員という表現が「一匹」になるところでようやく理解できました。瑣末なことですが、「殉死」という言葉は戦闘場面では使わないと思います。

白磁 9/15 22:57	代ゼミネタがわからない私は元駿台生です。こないだ代ゼミタワー見に行ったんですが、きれいでうらやましかった。 柚子さんも指摘してらっしゃいますが、ここでは「殉死」ではなくて「殉職」ですね。でもある意味殉死かしら。
Albino 9/16 0:7	代ゼミネタが分からない俺は全然大手では無いところの出身です。 ああ、それってやっぱり誘惑なのか…ここでゴキ来るとは思わなかった。
石花 9/16 0:8	このゴキ達は何者とどんな手段で闘ってるんだろう…
me 9/16 14:28	私は「カサカサ」って音のあたりで気づきましたが、すごい読みやすくて面白かったです。 ただ、ゴキブリに閃光弾が使われることってあるのでしょうか？
城山 9/16 15:44	机の影やカサカサで違和感は感じつつも最後でやっと気付きました… 代ゼミで何かあったんですか？
太祖武帝 9/16 22:5	ゴキブリネタでくるとは…なかなかです。伏線もしっかりと書かれていてよかっと思いますよ。ただなぜ代ゼミネタなのかよくわかりません
カゲヤマ 9/16 22:58	そうなんです「旧式の罠」には意外と入んないんです。 スリッパでも動けなくなるほどにはなかなかなりません。 現代化学万歳！！
石花 9/17 8:54	>カゲヤマさん ゴキジェット万歳！！　　氷殺ジェット、何で販売停止したんだろ…高威力、高命中率、超即効で暑い日に使うとグーなナイスなシロモノだったのに…
halcyon 9/17 12:12	(曹長、相当キテるな……)(なんだよ、ユウヤクって……)あたりに大爆笑。 でも、ゴキブリが数日間飲まず食わずって、どれだけ衛生的な環境なんでしょう？ 一般家庭じゃ無理でしょ、絶対。
神代千早 9/17 12:37	コミカルなのは良いのですが、読み返した時になるほどと思えない表現が散見されるので、ミスリードものだとそこのところが評価の分かれ目になりそうな気もします。そんなことはともかく楽しんだ者勝ちということなのかもしれませんが。
no price 9/17 14:54	楽しい落ちだったのではないかと思います。 代ゼミネタなのかどうかはわかりませんが、 最後まで人を読ませることが出来るテンポのいい話だったと思います。
EtOH 9/18 22:36	＞SOtaさん 代ゼミネタってなに？？ 知ってる人、気になるから教えてくださいっ！！
s.o.u.p. 9/18 22:59	＞「おぉおおぉ落ち着けぇ！あぁあ慌てずにかかあの机の陰に隠れるんだ！」 最近ゴキブリを観察しているから思うことかもしれませんが、本当に彼らはこんなふうに動揺して逃げているように見えますよね。この台詞には感心してしまいました。すごいです。 私は「カサカサカサカサ……」を匍匐前進の音だと思っていたので、最後から二行目に来るまで「ライト」や「毒ガス」の設定がわからなくて困りました。 あと、 ＞基地はほぼ壊滅状態 どんな部屋だったんでしょうか？
ノア 9/19 6:56	＞EtOHさん 「代ゼミ 亀田」でググったら何かしら出てくるんじゃないかと思いますよ。 代ゼミネタは万人に通じないだろうけど、まぁ代ゼミである必要はなさそうな作品だからまぁいいか。 ゴキブリの作品ってよく見かけるけど、本物のゴキブリ以上のインパクトがないんだよなぁ。。
kate 9/19 8:47	最初の段階で落ちが読めました。

やまのかめさん 9/19 11:48	がんばって雰囲気を出そうとしてるように見えますし、実際楽しく読めるのですが、そもそも最初の段階で、友軍の攻撃により壊滅状態の敵基地に疲労困憊へろへろで潜入、というのはいったいどういう状況なんだか訝しみながら読み始めてしまって、ゴキブリネタだということには毒ガスでピンと来てしまいました。ミスリードものとしてはちょっと微妙。情報のぼかし方も微妙ならネタが明らかになった時のうまいことやられた感も微妙です。ノリ良く楽しく書けていると思いますし、始めから擬人化されたゴキブリ分隊の奮闘話でよかったのでは？ また「殉死」は、死に殉ず、で目上の人の死を追って命を捨てる行為を指す言葉ですから、戦闘場面であろうとなかろうとここでは変です。「殉職」の間違いでしょうね。
めんとすこーら 9/21 0:6	これは…ベタなのに最後まで気づかなかった自分が憎いです。 頭の中にはヘルメットかぶった兵士の映像が流れていました。 ところでGが閃光弾と言っているのが不思議です。対G兵器に閃光弾に類するものってないですよね？ 私がGに対する見識不足なだけでしょうか。
floccinaucinihilipilification 9/24 21:47	全滅して良かった、と虫は良くてもGだけはどうしても無理な自分は安心しました。 もう少しネタが混じっていると「楽しんだもん勝ち」とミスリードの納得いかないところも無視できたかも知れません。 ネタとミスリードとどっちつかずになっていたかも……
ひま人 9/25 0:42	ゴキの立場からの視点、面白かったです。 最後はスリッパっていうのがいいですね。

ＴＯＰへ

誘惑者

合計ポイント：14 Point
作者：halcyon
作者コメントを読む

　いつものように購買に友人達とお昼御飯を買いに来た昼休み。
　大体皆の買う物は決まっていて、毎日のようにカップヌードルの子や同様にパン食の子、お弁当を作ってきて飲み物だけを買う子など、ほとんど役割分担さながらだ。
　その中のパン食担当の美幸が、菓子パンコーナーで唸りながら固まっていた。何となく、壊れる寸前の機械のようだ。
「何、どうしたの？」
「あ、里香。あのね……新商品があるんだよ」
「うん」
「すっごく美味しそうなの」
「買えばいいじゃん」
　そう言った私の言葉が雷だったかのように、美幸はびくりと身を震わせてうなだれた。
「すっごく甘そうなの」
「それはお昼御飯には向かないかもね」
「じゃなくて」
　彼女の目は恨みがましい感じに私とパンの並んだ棚を行き来する。しばらくして、はぁ、とため息をついて、彼女は重々しく言った。
「カロリーが……」
　なるほど。
　口にはしないが、内心で納得した。
　美幸は日頃からぽっちゃり系の自分のスタイルを気にしているのである。甘い物が大好きな彼女は、しょっちゅう「カロリーがー、太っちゃうよー」と言いながらも菓子パンやケーキを食べている。確か先週に「私、ダイエットする」と宣言していたような記憶があるのだが、新商品の魅力に心が揺らいでいるらしい。
「すっごく美味しそうなんだけどなー……一個じゃ午後もたないし……」
　尚もぶつぶつ呟いている。他の友人達はみんなお昼御飯を調達したようで、購買の入り口に固まっている。買い物が済んでいないのは美幸のみだ。
　眉間に深い皺を寄せて悩む彼女を見て、私の中で、あまりよろしくない欲望に火がつく。それはあっという間に広がり、私の口を開かせる。
「そんなに悩むくらいならさ、買っちゃえば？　ストレスは体に良くないよ？」
　軽い口調で言うと、美幸の顔に一瞬だけ変化が現れた。
　一言で言うならば快感と解放感、だろうか。ぱぁっと晴れやかなその表情は、瞬きするほどの合間にまた苦悩の表情に変わる。
　ただし、口元が少し緩んでいるのを、私は見逃さない。瞳の色も、心なしか先程より輝いている。
　苦悩と解放感の狭間で揺れているその表情と言ったら!!
　顔には出さねど、私は彼女のその表情を堪能する。数ある人間の表情の中で、私がもっとも魅力を感じる表情を。

「里香は痩せてるからそんな軽く言えるんだよー……うー、ずるい……」
　文句を言いながらも、彼女の目はもう新商品を捉えて離さない。手も伸びていく。
　その動きに伴って、彼女の表情からは苦悩が段々と薄れていく。残念なことに、あの魅力的な表情が消えてしまう。
　彼女が手に取ったのは、悩むのも頷ける、生クリームとジャムのたっぷり挟まった菓子パンだった。その他にも普段食べているようなサンドイッチなどを手にして、彼女は私を軽く睨んだ。
「太ったら里香のせいだからねー？」
「知ーらなーい。ほら、皆待ってるよ、急ご」
　冗談めかして二人でくすくす笑いながら、レジへ向かった。

　その日の晩、御飯を食べ終わった後でだらだらとテレビを眺めていると、珍しく父が早く帰宅した。
「お帰りなさーい」
「ただいま。いやー、しっかし今日は暑かったな」
　ネクタイを緩めながら言う、メタボリックシンドロームに悩む父を振り返って私は言った。
「あ、冷蔵庫でビール冷えてるよ」
　父の眉間に皺が寄り、数瞬の後に、昼間の美幸が見せたのと同じように、徐々に解放感と混ざり合った絶妙な表情になる。
「……折角勧めてくれるのは嬉しいんだが……」
　苦悩と解放の混ざり合う表情。
　それを見ながら、父が言葉を続ける前ににっこりと笑って言う。
「ビールくらい飲んだって大丈夫だって」
　父の顔から苦悩がゆっくりと去って行くのを、私はじっくりと楽しむ。

作品印刷　　コメント印刷
作品に対するコメントを下さい。
コメント登録

投稿者	コメント
石花 9/15 21:0	悪魔だ、この子悪魔だよ！！ 近年はゼロカロリーの飲食物が増えておりますが、結局シュークリーム分が不足して、つい…
城山 9/16 1:11	苦悩と開放の狭間、そこでポンッと背中を押されたらふらふらっと自らを解放したく… 里香ちゃんのこの悪意はどれだけの人に開放と後悔を与えていくのでしょう。
ノア 9/16 6:10	いいなぁ、この役。やっぱり言いたくなるんだよなー 「買っちゃえ買っちゃえ！！」って。
me 9/16 14:17	里香ちゃん怖い！ 美幸ちゃんの苦悩はよく経験します。 こんな友達がいたらどんどん太っちゃうなぁ。
神代千早 9/16 17:17	む、これは面白いキャラクターですね。単に意地が悪いのか、観察そのものが大好きなだけなのか、無責任な扇動者なのか、うかがい知れません。話そのものは食欲に屈服する人々という点で単純な構造を取っているかと思いますが、このキャラクターが一枚噛むことで面白さが増していると思います。観察者の視点からの描写も丁寧です。こういうのをキャラが立つと言えばいいのでしょうか？

カゲヤマ 9/16 20:52	ひどい！ひどいです！ 共感はありますが切実な（？）悩みを抱えている人に向って何たる小悪魔！ 優柔不断な私にとっては隣にいてもいいかもしれませんが… ＊石花さん シュークリーム分はこの世代にはあまり伝わりませんよ。 私も滑った事ありますから
ビーフステーキ 9/16 21:9	主人公はかわいいのですが何かしらのオチが欲しい。おしい。 > シュークリーム分はこの世代にはあまり伝わりませんよ うそおおおおおおおおおおおおおおおお！！！ …ごめんなさい、つい取り乱してしまいまして。えー、でも、そんな、うそだー。
EtOH 9/16 21:12	いい！このキャラいい！見習いたいですね～。 表情の描写がうまいなぁと思いました。読んでて楽しかった。
森　武 9/16 21:33	同じ悩み（メタボ？）を持つ僕にはちょっと辛い話です。里香＝○○（クラスの友達）という感じがしました。かなり心にぐさりと来ます。これからは気をつけようと思います。
城山 9/16 21:39	シュークリーム分って石花さんの好物がシュークリームってことだと思ってたのですが違うんですか？
石花 9/16 22:27	シュークリームは好物です。特にカスタードか抹茶。甘すぎず、ふわっとが理想形です。 シュークリーム分のもとネタはあずまんが大王という四コマ漫画です。
太祖武帝 9/16 22:56	食べ物の誘惑にはついつい負けてしまうんだったら、運動して体重を減らせばいいじゃん。 まあ、女性心理をわきまえない私のいうことなど無視してもらってもかまいませんが…。
石花 9/17 0:11	シュークリーム一個のカロリー＝食パン一枚＝160kcal。 シュークリームとなにかジュース一杯で大体250kcalですが、これを消費するには45kgの女性の場合、軽く50分ほどジョギングしなければいけません。チーズケーキなんて食べてしまった日にはクロールを25分…一日に主食以外に甘いものを二回食べたら、運動で減らすのはまず不可能ですorz
halcyon 9/17 0:13	シュークリーム分って通用しないんですか！？ショックだ… ＞太祖武帝さん アメリカでは国民的課題ですからねぇ。メタボもその余波だし。 男性陣もうかうかしていられないかもしれません。
バケネコ 9/20 12:23	実に小悪魔ですね。テンポが良くてよみやすかったです。 それにしても甘いものについてのコメントが多いですね。僕はどちらかというとビールの方に反応してしまいます。だめなの！　糖質０もカロリー０もだめなの！ それは発泡酒であってビールじゃないの！
s.o.u.p. 9/20 21:27	二人とも、放っておいても食べたり飲んだりしてしまうのではないですか？ この子は「誘惑者」ではないと思います。
葉月 9/21 0:46	これはかなり面白いキャラクターですね。よろしくない事もわかっているのが個人的に高ポイントです。 で、さらに個人的に好きなのが、友達よりも家族のほうがそういう趣味を発揮するときに気安い感じがすることですね。家族仲のよさが文章から伝わってきて、結構意地悪い感じのことをしてるのに、読後感はすごい爽やかです。イイネ！
halcyon 9/21 23:57	よく考えてみたら、彼女自身が「よろしくない欲望」に誘惑されてる被誘惑者でもあるんですよね、これ。 ＞s.o.u.pさん 　こういう人たちは最終的には絶対飲み食いしますね。背中押されなくても。

floccinaucinihilipilification 9/24 7:26	実際にこういう子がいると鬱陶しいんでしょうが、こういう人を観察してる子を観察するのがまた面白いんですよね。 ※アンサイクロ注意 ansaikuropedia.org/wiki/シュークリーム分 なるほど、やはりコラムランドは勉強になります。
カエデ 9/25 0:28	こういう子好きです。 そういう本人は体調管理万全なんでしょうね。

ＴＯＰへ

真っ赤な甘い毒林檎

合計ポイント：14 Point
作者：laket
作者コメントを読む

学校の廊下　彼と見つめあう

彼は何も言わない　私は何も言わない

夕暮れの廊下　誰もいない廊下　静かな廊下

赤く染まった彼の頬を撫でる

この想いは一時の気の迷いだろう

この願いは許されるものでは無いだろう

だからこそ

私は溢れる笑みを湛えてもう片方の手を伸ばした

さあはじめよう

ベルが鳴り響く中　私は笑い声をあげて廊下を走った

作品印刷　コメント印刷

作品に対するコメントを下さい。

コメント登録

投稿者	コメント
春 9/15 17:51	最後笑い声をあげて廊下を走るというのは何となく印象的です。 詩というか短い文章で重要なのはテンポじゃないかなと思うのですが、そこら辺にもう少し工夫があったらよかったなと。
石花 9/15 20:47	許されるものでは無い…二人がどんな関係なのか気になります。 最後の一文、なんかいいですね。

ビーフステーキ 9/15 21:37	最初「廊下」を「包丁」と誤読してしまったためにどうしもテケテケのイメージが取れない…orz # でも、中身は当たらずとも遠からず、という気がしなくもない。よくわからんが。
パンリコ 9/16 7:53	作者様、間違っていたらごめんなさいね。 学校の廊下にある、普段は決して押してはいけないあの赤い箱のボタンを押して逃げ去った、と解釈したのですが？ 最後の１行ってそう思わせる文ですよね。
ビーフステーキ 9/16 11:10	> パンリコさん あー！ なるほど納得いった。
me 9/16 13:34	パンリコさんの解釈だと納得ですね。 普通に文読んでるときは、意味わかんなかったけどドキドキしました。
城山 9/16 16:44	なるほど！パンリコさんのコメント読むまで生徒と教師モノかと思ってました。 キンコンカンコンではなくジリリリリの方ですね。
神代千早 9/16 17:32	二人の人間ではないのだろうと思いましたが、解釈に至りませんでした。バンリコさんの解釈でなるほどと。 別の解釈をするわけにいかないだろうか、と考えてみます。 一度納得のいく解釈をすり込まれると難しいですね。
EtOH 9/16 21:4	あ、僕もそれですんなりです。 最初いまいちよくわからなかったんですよね。
カゲヤマ 9/16 21:10	1回目読んでみると あの憎たらしいバカップルの 「アハハ～捕まえてごら～ん。」 「えぇ～～！まってぇー！（はぁと）」 が想像され、 2回目に読んだときは 「こおらああ！悪ガキがなに押しとんのじゃーー！！」 という守衛のおじさんが思い浮かびました。 どちらにしろ病気です。反省
太祖武帝 9/16 22:9	コメントを見てやっとわかりました。なるほど、そう考えるとタイトルと最後の１文が結びつきました
halcyon 9/17 13:58	タイトルが伏線というのが心憎いですね。 実際にやろうとしたことがある悪餓鬼なので気持ちがよく分かりました（笑）
no price 9/17 14:46	恋愛系の文章でラストが笑い声っていうのがなんかいいですね。
ノア 9/19 4:54	なるほど。コメントで納得。 私だったらラストはもう少し危機感を持って逃げるなぁ
バケネコ 9/20 12:53	ああ、非常ベルですか、気付かなかった。見事にだまされてしまいました。 てっきり「血に染まった彼にとどめを刺さんと追いかけるヤンデレな女の子の話」だと読んでました。……僕はそっちの方がいいなぁ。
葉月 9/21 0:26	あー、なるほど。面白い。 このあっさりさはステキですな。説明くささの欠片もない感じがグーです。
みーちゃん 9/22 17:51	ベルの意味がわかりませんでした。それ、マジでやったらめっちゃおこられますよ。
s.o.u.p. 9/23 1:0	こういうことをする人って実行中はすごい真顔で、追手を振り切った後で笑うのだと思ってました。自分の経験上ですが。 押す前から笑ってるなんて、人がいても押すんじゃないですか、この人。
floccinaucinihilipilification 9/24 16:42	コメントで理解しました。 ミスリードが強すぎましたね。ここら辺のバランスは難しいところです。
Albino 9/24 23:12	何度読んでも分からず、コメントでやっと気が付いた。そうかあの赤い箱か…あはは； なるほどそれで誘惑か、うまいなあ。

カエデ 9/25 0:20	私の気持ちがわかってしまうのが悲しいです。 無理のないミスリードで、とても好感が持てました。
ひま人 9/25 0:57	私もコメントで納得。 中学時代、このようなことは日常茶飯事でした（笑）

ＴＯＰへ

NO PANTS, NOT PANTSU!!

合計ポイント：14 Point
作者：bfs（ぱんつ）
作者コメントを読む

日夜アニメを消費しマンガを消費しライトノベルを消費しゲームを消費する変態紳士の諸君には周知のことであるが、最近このようなキャッチフレーズの深夜アニメが放映されている。

『パンツじゃないから恥ずかしくないもん！』

説明しよう！　アニメ『ストライクウィッチーズ』に出てくる少女達は皆、スカートやズボンをはいてない！　下半身には三角形の小さな布切れ（キャラによってはスク水やパンスト）を纏っているのみ――だがしかし！　彼女たちはそれを「ズボン」だと言い張るのだ！　この世界ではこれが普通なのだ！　だから誰一人として恥ずかしがってなどいない！　パンツじゃないから恥ずかしくないもん！

……興奮して取り乱してしまった。そう、善良なる一般市民に「もうやだこの国」とまで言わしめたこのアニメは、しかし同志達に驚愕と喝采をもって迎えられた。狂った世界だって？　狂った、というのは共同体の現実から外れた者に対する意見だ。全てが受け入れられている彼女達は、その世界の中では狂ってなどいない。狂っているのは現実とはまるで違う世界を創造したクリエイターと、その世界に誘惑されてやまない変態紳士達、そして何よりこんなのを地上波で流すことを了承した権威ある人々である。某玩具販促アニメはテレ東に放送拒否られてBSに移ったと言うのに。

何の話をしているのだっけ。ああそう、ズボンはいてないって話だ。そもそも何故人々はパンチラに惹かれてやまないのかと言えば、禁忌を破っているからだ。禁忌を破ることに快感が伴うのは心理学の方面からも指摘されている事実である。しかしこのアニメはまごうことなきパンモロである。年端も行かない少女たちが我々から見たらアラレもない格好を恥ずかしげもなく晒しているのだ。パンモロ上等の世界に禁忌もクソもない。ならば何故ここまで惹かれるのか？　それは我々がこのアニメを見ること、それ自体が禁忌を突破しているからだ。親にこんなアニメ見てること知られたら恥ずかしいだろう？　たまに理解のある親もいるが。どうでもいいがこういうのに理解のある親って父親より母親の方が多い気がするのだが俺の周りだけだろうか。

失敬、脱線してしまった。そうだな、人間守るべき節度を失ったらおしまい、とはよく言われる話だ。もちろんそいつは社会を回す上で重要なことではあるのだが、こうしてこっそり禁忌を破る快感を得るためにもまた必要なことなのだ。……なんだか刹那的快楽主義者を擁護してるみたいだが、人の迷惑にはならないようにな。人に危害加えるのはもちろんとして、クスリもラリってワケわかんなくなっちゃうからダメだぞ。変態紳士とはつまりそういうことなのだ。年端もいかない少女が好きだからこそ、二次元を愛するのだ。

しかし、禁忌の突破に快感を得るなら、共感に快感を得るのもまた人間だ。こいつは長年悩ましい問題であったが、最近、一つの解決方法が見出されてきた。そう、インターネットだ。

顔の見えない相手と、情報のみ、つまり純粋な趣味嗜好のみでコミュニケートすることができる。これは孤独な変態紳士にとって極めて画期的なことだ。私もこのようにblogでこんなこと書いてるが、それは顔も知らない不特定多数を相手にしているからであって、例えばリアルと地続きのmixiでは決して書けない。友人は変態紳士だけではないのだ。ああもうインターネットの人間関係マジ最高！　インターネット万歳！

というわけでこのタイトルに釣られた諸君は、とりあえず下のコメント欄に何かしら残していくといい。

分かり合おうではないか……！

（参考：http://s-witch.cute.or.jp/）

作品印刷　　コメント印刷

作品に対するコメントを下さい。

コメント登録

投稿者	コメント
SOta 9/15 9:55	予想外なことに、タイトルから予想通りの展開でした。 blogに書いているという設定？が面白い。 内容はともかくこうやって主張したいことがあるっていいですね。 ;このコラムが一番上に表示されたのは果たして運命なのか……
八剣 9/15 10:38	タイトルは・・・読んでなかったな。 中盤の暴走はよかったけど、最後で失速？ ストライクウィッチーズは見てるけど、個人的にはそこらへんはスルーしてます。
神代千早 9/15 17:7	参考URLではよくわかりませんね。とりあえず大学で見るのはやめた方がよいのかもしれません。いえ、見てみましたが。 なんだかよくわかりませんが、ムスタングとかスピットファイアとかメッサーシュミットとかフォッケウルフとか書いてあるのは気になりました。アンチマテリアルライフルを反物質ライフルだと勘違いした友人がいましたが、そんなことはさておき。 自分の主義主張を力強く表現するのは結構なことだとは思うのですが、体裁がはなからこの主張に共感を寄せる人向けの訓辞ですので、そうでない人は対象外扱いになる点が普遍性を欠いていますね。いえ、自覚的にやっておられるのでそれでいいと思いますけれど。 何にせよコメントを書いた理由は、私の所でも一番上に表示されていたからです。
s.o.u.p. 9/15 17:49	＞パンツじゃないから恥ずかしくないもん！ 誰に指摘されてこんな反論をするに至ったのかが気になります。 その狂った世界観の中では普通のことなんですよね？外の世界(現実の世界)から入ったツッコミだとしても、その狂った世界観の中で生活している少女達は現実の世界の価値観を得ない限りこんなことは言えないと思います。現実世界の価値観を得た上で言っているなら確かに魔女、いや、すごい悪女ですね。 禁忌をどうのこうのするという辺りはとても興味深く読ませていただきましたが、残念ながらあなたとは趣味が合わないようです。
石花 9/15 20:45	コメント欄に変態という名の紳士が少ないですね。…経験者の方々は名前が割れてる人もいるのではっちゃけないだけかもしれませんが。 リンク先の「パンツじゃないから恥ずかしくないもんキャンペーン」って、、。
ノア 9/16 6:35	「コメント欄」という記述があります。これはアウトじゃないかな。

さくしゃ 9/16 6:59	> ノアさん （コメントを開放している）blogにこれをそのまま載せても共通認識として問題ないはずなので、アウトではないと判断してネタにしました。
城山 9/16 11:23	禁忌の突破とその共有。確かに禁忌を破る時と、そのちょっとした後ろめたさを共有出来る相手を見つけた時には快感と嬉しさが伴います。 すごい発想のアニメですね。 あ、僕の周りでも母親が多いです。
カゲヤマ 9/16 17:58	あ…おれ禁忌破ってたんだ。
laket 9/16 19:3	タイトルが秀逸ですね。 ストライクウィッチーズの設定を考えた人は天才だと思います。 「パンツをどうやって映そう」→「常にパンツにするか」 は中々思いつかないだろうし、思いついても普通やらないのでは無いでしょうか。 ＞例えばリアルと地続きのmixiでは決して書けない この場もそれなりに地続きですから、みなさん冷静ですよね。 たぶん、上の賢者っぽい人のうち何人かは「パンツ！パンツ！」と日頃は言ってると思います。
EtOH 9/16 20:38	ストライクウィッチーズは知りませんでしたが、話は楽しく読めました。ネタが分からなくても楽しめたのでよかったです。 参考も思わず見てしまいましたよ。
evolv 9/16 22:47	大きい三角定規に踊らされた犠牲者の1人にすぎないんだよ
halcyon 9/16 23:20	「コメント欄」ってNGじゃないですかね…。 後半の流れがちょっと不自然な印象。突然インターネット礼賛になってしまった気がします。
さくしゃ 9/17 20:6	> halcyonさん ええと、それについての自分の見解は上のコメントにあるので、そっち見て納得いかなかったらそれに反論する形で書いてくれるとお兄さんはうれしいな。
halcyon 9/17 21:52	あ、ごめんなさい。すらっと見逃してしまいました。初読だとついこういうミスをしてしまいがちです…
greenbard 9/18 12:19	共感を求めてblogに記事を書いているという設定の文章なのだから、コメント欄は全然、ノープロブレムだと思います（と、作者を擁護）。 それにしても、リアルワールドと地続きではない世界で、見ず知らずの他人と共感を得る、という解釈には、なるほど、と手を打ちました。ハイテンションでネタ満載ながら、主張そのものはいろいろと考えさせられるところがあって面白いなーって思いました。 あ、でも、この島は半ば地続きですよ？ ……と作者さんに言ってみる（笑）。
floccinaucinihilipilification 9/18 21:45	なるほどブログ形式にすれば良いのか、とコメント欄という言葉を自分も使いたかったなあ、と感心しました。 それならば日付をつけるとかトラックバックという言葉を出すとかよりブログらしさを出せて良かったかなと思います。 タイトル？内容？釣られないですよ。
カッシーニの空隙 9/19 3:13	私は賢者です。関連動画も上げています おいといて 知らない人への配慮もしっかりとなされているし、テンションもいい感じに最後まで持続している。 先入観が入ってしまっているため客観的に見ることができませんが、あなたとは違うんですが、悪くない文章だと思いました

ノア 9/19 5:5	あ、本当だ 　＞私もこのようにblogでこんなこと書いてるが、 ってありますね。 ブログだから大丈夫ということか。納得です。お騒がせしました。
BELIAL 9/19 12:16	blogっぽいテンションで面白かったですね。 まぁ同意できるかと言われれば…うーん。
kate 9/19 18:19	コラムっぽくなく新鮮と言えば新鮮でした。
茶目 9/20 17:20	his word, her world みたいなタイトル？？
めんとすこーら 9/20 23:51	なんというか、新鮮ですね。 下着だと恥ずかしくても下着同然の水着はあくまで水着だから平気、みたいな心理と似たようなものなんですかね。 なんとなく気になるのは、作者が本気でそのアニメにというかパンツに傾倒しているのか否か。 そうじゃなくてキャラクターとして作っているのであれば逆にすごいなと。
qofhk 9/23 22:12	クマー まさかこのネタでくるとは・・・
やまのかめさん 9/24 3:22	かなり特殊なネタを取り上げながら、かつ、一見して暴走してそうな文章でありながら、そのネタを知らない読者にも読めるようにきちんと紹介や説明をまじえて文章が書かれているのは評価したいですね。 内容に賛同はしませんが、パンツと言えば、そうそう、昔の話なのですが、三国志をテーマにしたアニメがありまして、そこでミニスカはいたお姫さまが剣を片手に暴れ回る場面がありまして、スカートがひらりとした瞬間にいわゆるパンツと覚しきものが画面に映ったものでまだ子供だった私はそこで「いまパンツ見えたよね！」と指差して振り向いたところ、一緒に見ていたイトコのお兄さんは冷静に首をかしげて「この時代の中国にパンツなんてなかったろう？」と宣ったのでありました。……えーと、なんの話なんでしたっけ？ ああ、そうそう、つまりパンツが見えたからと言ってどうということもないと思うのですよ。世の人々のいくらかが妙にパンツにこだわりを持つことについてはどうにも理解できなかったり致しますわけです。はい。うちなんて兄に娘ができたおかげで幼女のパンツなんて見放題ですがな。 えーと、げほげほ、そんなわけで分かり合えたりはしないのですが、文章自体の勢いはいいですね。もっとも主題が絞りきれていない印象はあります。パンツなのか、禁忌の話なのか、自称変態の自己正当アピールなのか、仲間を募っているのか。読者を乗せて読ませてしまう勢いはあるかもしれませんが、読者としても、そういえば何の話だったっけ？となってしまうような文章でした。この文章の場合、これはこれでいいのかもしれませんが。
カゲヤマ 9/24 20:35	このコラムコメントの量がすごいですね。 やまのかめさんが自分のエピソードをお話いただいたので私からも一つ。 昔、とある戦争もののアニメ（原作エロゲ）がありまして、日露戦争を舞台に海軍服…つまりセーラー？を着た女の子が人型兵器のようなものを駆使して戦ってたのですが、例の如くスカートが信じられないほど短いんですね。（設定資料によると20センチほど） 結構ハードな動きをしているのになかなか…いや全然チラッとしないことに、当時まだ心清らかだったわたしはその女の子に 「せっかく見せようとしているのに残念だね。」 と思ったものです。大人の事情だとは微塵も思わず。 最近は少し厳しくなりましたが昔（20年くらい前）は胸チラもアリだったそうですけどね。
imt14 9/24 22:31	僕は自らのろくでもない嗜好を人に見せつけるのが趣味の変態なのでインターネットは好みません

ＴＯＰへ

誇り高きネペルタシア

合計ポイント：10 Point
作者：Albino（ウツボット）
作者コメントを読む

彼女は、言うなれば魔性の女であった。

体に走らせた色彩あふれた刺青は、見るものの目に深い印象を残す。

美しい曲線を描くその下半身は申し分なく性欲を刺激する。

その体に纏う官能的な香りは男性はもちろん、女姓までもが惹かれていった。

「可愛い坊や、おいでなさい」

今日もまた、１人、２人と彼女に抱かれていく。

快楽を得るのは彼女でなく惹かれるもの達。

昼夜を問わず彼女はその場にたたずみ、自分に惹かれるものを誘うのだ。

そうして抱かれるたびに、１人、また１人と快楽におぼれていく。

しかし、彼女の与える快楽は一度おぼれたものを決して離すことは無い。

そのまま快楽の海へと沈め、その身を焦がさせ、本当に彼女のものにしてしまう。

たとえ一度我に返ろうとも彼女は決して逃がさない。

彼女はそんなものも再び抱き、快楽の絶頂へと簡単に誘ってしまう。

そうして、彼女は快楽に取り付かれてみっともない声を上げるものを見下ろして、

それはそれは嬉しそうに微笑むのだった。

「じゃあ、私からもっと素敵なこと、してあげる。ほら、もっとこっちへ…」

ああほら、また一人。彼女に骨抜きにされてしまう。

じゅじゅ、じ、ジ、
ジュアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアアア

「お母さん、最近この辺で虫見なくなったね…前はあんなにいたのに。」

「あら、やっぱり効いてるのねえ。買って来てよかったわあこのウツボカズラ。」

今日も彼女はたっている。

作品印刷　　コメント印刷

作品に対するコメントを下さい。

コメント登録

投稿者	コメント
SOta 9/15 10:2	やられました。 最後の台詞２行で綺麗に落ちてますね。
柚子(ゆうこ) 9/15 16:27	どきどきしながら読みました。とても楽しかった、と同時にお勉強になりました。
ビーフステーキ 9/15 21:7	オチはまあいいとして、流石に行間空けすぎじゃね？ と思う。 どうでもいい話だけど、調べてみたら食虫植物が普通に売買されてることに驚いた。 -- ネペルタシア に一致する情報は見つかりませんでした。 検索のヒント: * キーワードに誤字・脱字がないか確認します。 * 別のキーワードを試してみます。 * もっと一般的なキーワードに変えてみます。
石花 9/16 1:46	＞ビフテキさん ウツボカズラ科（Nepenthaceae） 騙されたー。というか、うん、表現に全く問題ないはずなのに、、うん。
ノア 9/16 5:39	文字通り溺れていきますな。 なんとなくタイトルが良い。 ところで、ウツボカズラって虫取りに使えるのか？

ビーフステーキ 9/16 11:18	> 石花さん なるほど、と納得しかけたがそれネペルタシアと発音できない気が。 別言語ならいいのかもしれん。
カゲヤマ 9/16 17:19	途中で「さあ、何のミスリードだ〜？」 と思って読んでいたら食虫植物！？これを思いつくのはすごいですね。 へえ、ウツボカズラってネペルタシア（？）っていうんですか。
神代千早 9/16 17:26	ミスリード物でしたか。いえ、そうだとは思って読んでいたのですが、なかなか見当が付きませんでした。いわゆる酸みたいにジュアーと溶けたりはしない気もしますが（酸もそんなにめったやたらに泡を吹いて物を溶かすわけではないですし）、まあ、そこはそれ。 ちょっとミスリードにしてはやり過ぎ感がありました。虫視点で読み直した時に納得できない部分がいくつかあるので（例えば「美しい曲線を描くその下半身は申し分なく性欲を刺激する」とか）、後で読み直したときにすんなり受け入れられる程度にその辺の言葉をもう少し選んでも良かったかなと。
EtOH 9/16 20:53	ミスリードでしたね〜。やられました。ネペルタシアも勉強になりました。いやー、食虫植物はすごいっすね。
太祖武帝 9/16 21:26	このミスリードはさすがですね！ウツボカズラを知らない私もどういうオチなのかわかったのですから！あっさりとしていいお味（読みやすい）！
城山 9/16 22:34	ウツボカズラ、プレゼントにしたことありますよ。ハエトリ草とセットで。 虫は多少入ってましたが想像していたほどは取れなかった気がします。虫対策もかねてプレゼントしたので残念でした。 あれはフェロモンのようなもので誘ってるんでしょうかね。溶ける時に快楽が伴うとは… このミスリードは分かっていてもそっち以外考えられませんね（笑）
パンリコ 9/18 17:24	＞神代千早さん ウツボカズラはかなり刺激的な植物です。本物を見ると「美しい曲線を描くその下半身は」のくだりはわかるような気がします。（作者を擁護しすぎ？） 植物はもともと他の動物を誘惑して受粉してもらったり、甘い実を食べてもらったりでその種の命を繋いでいるのですから。
やまのかめさん 9/18 21:9	ウツボカズラを擬人化した描写はなかなか面白いですね。ただ変にミスリードを狙ったりしなくてもよかったのではないでしょうか。ミスリードを誘われた場合、実はこうだったという結論だけでなく、読み返した時にこの文章は実はこういう描写だったんだやられた！と思わせてくれないと少々興醒めしてしまいます。この文章の場合、やはり、虫が誘惑される過程というのはこういうものなんだろうか、と疑問に思ってしまいました。最初から描写対象を明らかにしてしまって、人間による詩的なウツボカズラ賛歌という形の方が綺麗にまとまったのではないかと思います。それでも十分に面白いと思いますし。 > パンリコさん 「美しい曲線を描くその下半身は」のくだりはですが、神代千早さんが言われているのは、虫の視点としてどうなの？ということだと思います。自分にも、美しく曲線を描く下半身が性欲を刺激するというのは、人間の視点での感覚のように感じられます。 あと、最後の一文でわざわざ「彼女」を強調しているのはどういう意図でしょう？　さんざん描写してきた「彼女」が植物のことだったんですよというだけでしたら、それまでの経過で十分にわかると思いますし、最後に作者さんからさらに念を押されたような、くどい印象を受けてしまいました。 また、ここまで行間が開くと自分には鬱陶しいです。 「女姓」は誤字かな。

神代千早 9/19 3:42	バンリコさん 作者の意図がわからないという意味ではありません。 やまのかめさんが補足してくださっていますが、この作品の構成としては、読者が人間視点で見ていたものが、実は虫視点で見るべきものであったというギャップが命なわけですね。進化過程でのあの形状は虫を逃さないための形状と考えるべきだと思いますが、虫が形状に魅せられて潜り込むかな？と考えたときに、腑に落ちないものを感じてしまいました。 読者の誤解によって視点が変わったら、文章が同じであるにもかかわらず世界ががらりと変わるのがミスリードの目標だとすると、誤誘導はさりげない方が好ましく、この作品の場合は（人間の）女性への見立てに対する誘導が露骨に過ぎるかなぁと思ったのです。
kate 9/19 8:51	最後の最後まで落ちが分からず楽しく読めました。
バケネコ 9/20 12:31	コラムiランドにいると、ついミスリードに敏感になってしまいますね。たぶん他の場所で読んだら見事にだまされたと思うのですが、最初の数行から落ちを疑ってしましました。なんだか不健全な読み手ですね。それからですね、僕はこの空改行、それほど気になりませんでしたよ。
めんとすこーら 9/21 1:12	こういった趣の文章は今度は何だと構えてしまいますね。 しかしながらオチは読めませんでした。 ウツボカヅラは匂いで虫を寄せているんですね。 その匂いに対して虫がそのような理由により寄っていくのかは知りませんが、とりあえず性欲を刺激するという記述は正しくないような気がするので、そのあたりをもう少し考えた方が良かったのでは？ ミスリードは事実が巧みに別の言葉で表されていてこそ光るもので、事実でないことまで書いてしまうのはスマートでないように思います。
浅間ぱんだ 9/21 16:31	ううう、ウツボカズラが何なのか知りませんでしたw ネペルタシアと合わせて勉強になりました。
s.o.u.p. 9/22 0:25	＞骨抜きにされてしまう。 殻だけにされてしまうのでは？ 食虫植物は私も大好きですよ。 小学生の頃に植物の観察記録をハエトリグサかウツボカズラでやりたいと本気で思ってましたが、今から考えるとぞっとしないですね。
カッシーニの空隙 9/22 13:10	ふぅむ、科学的な正しさか・・・ 擬人化する以上どこかが虫の本来の視点、植物の本来の視点と異なる設定になってしまうと言うのは仕方がないと思うのですが、どうでしょう。
神代千早 9/23 8:32	カッシーニの空隙さん 科学的に正確でないからとか、擬人化したのだからという問題なのではなく、読み直して「ああ、うまくだまされた」というには 、だまされたままだった方がしっくりくるということです。 「ああ、虫から見た世界だったんだ」と見るよりは、「人がその曲線に誘惑されたんだ」と、ミスリードの世界の方がしっくりくる文章が散見されるように思われるので、そこはミスリードしすぎなのかと考えてそのような感想を述べました。
floccinaucinihilipilification 9/24 21:28	前半の描写が激しかったせいでしょうか、ミスリードなんだろうなあと思って読みました。 そうするとオチで余程の展開がない限りインパクトが薄くなってしまうんですよね。 ある程度騙す方の話もありえそうな話(この場合散々R15が言われていたのでそっち方向にはありえないので)にすると良かったと思います。
カエデ 9/25 0:22	そのまま快楽の海へと沈め、その身を焦がさせ、本当に彼女のものにしてしまう。 うまいですね。海、焦げる、彼女のものが完璧に絡んでいてすばらしい作品だと思います。
ひま人 9/25 0:50	ウツボットですな。 私は使いませんけど・・・

ＴＯＰへ

誘惑のススメ

合計ポイント：10 Point
作者：バケネコ
作者コメントを読む

まさに完璧な作戦です！
ヒカルは誘惑を覚えます。そして認めさせてやるのです、ヒカルが大人の女だってことを。

　ヒカルはずっと不満でした。みんながヒカルを子供扱いするからです。確かにヒカルはニンジンが食べられませんし、女らしいお洋服も持ってません。けれど、ニンジンが食べられないのは高校生のお姉ちゃんだって同じですし、男っぽいお洋服しか持ってないのはお母さんがそれしか買ってくれないからです。だから、みんながヒカルを子供扱いするのは、やっぱりやっぱりおかしいのです。
　そこでヒカルは考えました。すごくいっぱい考えました。ヒカルはもう大人の女なんだってことを、どうしたらみんなにわからせてやれるのかって。けれど、お腹がぐうぐう鳴るまで考えたのに、少しも良い考えが思いつきません。ご飯を食べても思いつきません。歯を磨いても思いつきません。そしてお風呂に入っても――、

　そうです思いつきました！　ふふふ、やっぱりヒカルは賢いのです。だってヒカルはしっかり覚えていました。それは一昨日お姉ちゃんとお風呂に入っていたときのことです。お姉ちゃんはずいぶん長いあいだ髪を洗って、ずいぶん長いあいだ顔を洗って、ずいぶん長いあいだ体を洗っていました。ヒカルがその理由と聞くと、お姉ちゃんは言ったものです。

「あのねヒカル、女には魔法がつかえるの。誘惑って名前の魔法が。こうやってしっかり美貌を磨いておけばね、あとはただにっこり笑っているだけで、周りの男の子たちが面倒なことをみんなやってくれちゃうの」
「すごい！　ヒカルも誘惑やりたい」
「うーん、ヒカルにはちょっと無理かな」
「どうして？」
「だって、誘惑の魔法はね、大人の女にしか使えないんだから」

　そう言って微笑んだお姉ちゃんは確かに綺麗で、ヒカルよりずっと立派な大人の女に見えました。だからそのときはつい諦めてしまったのですが、そこはアレです、お父さんがよく言っている……そう、逆転の発想です。つまり、大人の女にしかできないはずの誘惑をヒカルが使えるようになったら、みんなヒカルを大人の女として認めざるを得ないわけです。完璧な作戦です！

　そこでまず、ヒカルは女らしいお洋服に着替えることから始めようと思いました。綺麗になるには、それがいちばん手っ取り早いと思ったからです。ヒカルは男の子用の服しか持っていないので、お姉ちゃんに貸してくれるように頼むと、お姉ちゃんは急に目を輝かせて手伝ってくれました。「ヒカルにそんなマニアックな趣味があっただなんて、どうしてもっと早く言ってくれなかったの！」とか、「無理矢理はいけないと思って今まで我慢してたけど、ちよコスもなのはコスも更にはルキノキコスだって、ちゃんとヒカルサイズのを用意してあるんだから！」とか、よくわからない言葉を叫びながらでしたけれど。

　そしてそれから一時間くらい、ヒカルはお姉ちゃんと一緒に着替えを頑張りました。ひとつ着替えるたびに、お姉ちゃんは写真をとって、ヒカルはすごく可愛いと褒めてくれました。なんだかずいぶん自信がついてきたので、急に鼻血を出して倒れてしまったお姉ちゃんを残して、ヒカルはお母さんにもみてもらいに行くことにしました。

「お母さん、みて！　誘惑できてるでしょう？　大人の女でしょう？」
「えっと……ヒカル、その服、お姉ちゃんの？」
「そだよ」
「まったくあの子は……あのね、その服で外に出ては駄目よ」
「どうしてっ？　ヒカルがまだ子供だから、だから駄目だっていうのっ？」

するとお母さんは、なぜか深くため息をついて、そしてゆっくり言いました。

「子供だとかそういうことじゃなくてね……ヒカル、あなたは男の子なんだから」

作品印刷　　コメント印刷

作品に対するコメントを下さい。

コメント登録

投稿者	コメント
八剣 9/15 10:42	とりあえずお姉ちゃんが目を輝かせたところでおちが読めました。
石花 9/15 20:57	とりあえず、写真をアップロードするんだ！ …冗談はおいといて。おねーさんがはっちゃけすぎてて面白かったです。そりゃーお母さんも男の子用の服しか買いませんよね～
ビーフステーキ 9/15 21:16	冷静に考えると、この時点でヒカルが事実に気づいてないのはよほどのファンタジーか性同一性障害のどちらかなのですが、そんなことはどうでもよくてショタ！ショタ！ フェイトじゃなくてなのは、ってのは作者分かってるじゃないですか。ごめんなさいなんでもありません。
カゲヤマ 9/16 16:13	あはは、お姉ちゃんがフェイトでヒカル君がなのはですね！（コアな話ですいません） 前半は意図的な幼稚な文章に、後半はオチが読めたうえでお姉さんのショタ＆ナリコス趣味に笑いました！！すごいです 用語もご存じのようで作者の趣味がうかがえます。
EtOH 9/16 16:23	なんか知らない単語が飛び交っている・・・。 なるほど～、こういうオチですか。
SOta 9/16 23:51	途中まで完全に気づかないですね。 ヒカルの声が柳瀬なつみで再生されてるのは自分だけでいい。
halcyon 9/17 0:26	「お父さんがよく言っている」逆転の発想…お父さん、裁判関係者ですか？（笑） 自分が女だと思い込んでいる理由が判らなかったのが惜しい。いっそお母さんもぐるだったら（ry 「男っぽい洋服」と前半で言っていたのに、「男の子用の洋服」と言い換えられているところが更に惜しい。ここを騙せればもう少しミスリード出来そう。 しかし、このお姉ちゃんキャラ立ってていいなぁ。

ビーフステーキ 9/17 11:2	> お姉ちゃんがフェイトでヒカル君がなのは ああそうか普通に考えればそうなるか。……素でなのはさんのが可愛いと思うんだけど誰も同意してくれないのです。 > 柳瀬なつみ まきいづみ、じゃないとイメージできないのは俺だけでいい。 # 全力でひどいコメント中。
城山 9/17 14:28	マニアックな趣味あたりで見えましたね〜。 ただ、お姉ちゃんが目を輝かせて発しているセリフの後半とコメント欄の暗号が理解できない… ヒカル君は特に女の子扱いを受けて育った訳でも無さそうなのに、何故自分を女の子だと思って疑わないんでしょうね。子供扱いが嫌なら大人の男でも…って突っ込むところじゃありませんか。
ノア 9/17 19:57	親はグルでもなさそうなのに、 自分が男の子だと気付かないというのはどうかと思いますが… でも無邪気でかわいい男の子はいいと思います
神代千早 9/18 8:4	お風呂で思いついたのにまずは洋服からですか。これだけ誘惑の何たるかも理解せずに誘惑を実行したがるメンタリティだとすると、まずは髪を洗ったり、顔を洗ったりという、今見たばかりの方向性に行きそうですが、そこは物語の都合上、他者にもトランスセクシャルが意識できる洋服に行かないと困るのでしょう。 「ちよコスもなのはコスも更にはルキノキコス」というのは見当が付きませんが、毎度毎度googleさんにお伺いするのも気が引けるので、たぶん何らかのキャラクターのコスプレではないかと思ってそれでいいことにしました。 途中といってもお姉さんがコスプレさせようとおかしくなったあたりですが、その辺で男の子とだと割れる構造でしょうか。もっと前に「男っぽいお洋服しか」でも思い至る人もいるかもしれません。まあ、割と露骨に書いてありますし。ただ、ばれるべき場所でばれてしまうと、その後が意外性を失ってしまうので、もう少しそれらしく引っ張ってもよかったのではないかと思います。
s.o.u.p. 9/18 22:53	＞ちよコスもなのはコスも更にはルキノキコス ネタがわかりません。 こういうネタは本当に100万人に伝わると思いますか？この文章に限ったことではないのでここに書くのは筋違いだと理解しているつもりですが、他のネタ話よりも特にわからなかったのでつい書いてしまいました。 個人的には、もうちょっとオチを引っ張って欲しかったです。
石花 9/19 0:53	>s.o.u.p.さん 少なくともなのははアニメ化してますから、1%切っていることはないとおもいますよ？ちよも、あずまんが大王のちよなら、どっかのコラムでシュークリム分がそこそこ通じてましたし、ある程度漫画とかサブカル方面に触れていたら分かる程度に有名です。すくなくともちよパパと大阪は有名です。よつばと！の人が描いてるし。マイナーというほどでは。2chとかでもＡＡ見かけますし。むしろらき☆すた知ってるのになのは知らないのが驚きです。最近のですから。…あ、コスはコスプレのことです。念のため。 まぁ、確かにちゃんとデータをとっている訳ではありませんし、微妙なラインと言われればそうなのですが...。とりあえず筋違いのことを長々と書いて申し訳ありませんでした。
石花 9/19 1:1	...あと、「よくわからない言葉を叫びながらでしたけれど。」ってありますし、良く分からないことをいってるということを伝えたいがために良く分からない意味不なことが書かれてるって解釈じゃ、だめなんでしょうか？

やまのかめさん 9/19 13:2	ヒカルの性別にはかなり冒頭で、「男っぽいお洋服しか」の時点でピンときてしまいました。 ヒカルが自分はもう大人の女なんだと確信していることにはかなり違和感が。ヒカル自身が、性同一性障害的に、なぜ自分は女ではなく男なのだろう、本当は自分は女のはずだ、と思うことはあるにしても、現時点での自分の肉体的性別を認識できていないような年齢でもないでしょうに。 ネタはね……自分はなのはだけわかるかな……この作品自体に関して言えば、コスプレネタの使い方は前後関係から類推できる程度に、出されている固有名詞も作者のお遊び程度に収まっていると思います。知らなくても作品自体は読めますし。ただ、知らないネタで周りが妙に盛り上がっていたりすると、わからない立場からすると気持ちは引いてしまったりするんですよね。s.o.u.p.さんのコメントに込められているのはそういう気持ちでしょうか？ アニメやマンガのネタは特に変な方向へ盛り上がりやすい気がしますし、ネタが登場した時点でゲンナリという気持ちもわかる気がします。
s.o.u.p. 9/20 20:0	＞石花さん らき☆すたを知っているのはサークルで刷り込まれたからです。 サブカル系のネタを出すなと言ったり、ここまでだったらOKという線引きをするつもりはありません。私が感じたのはまさにやまのかめさんが仰ったことです。文章とコメントを読んで疎外感を感じてしまいました。 コメントがかなり感情的になっていて刺々しいのは申し訳ないです。 ＞やまのかめさん 自分の気持ちを説明するのが苦手なので助かりました。感謝申し上げます。
葉月 9/21 17:11	あー、そうくるとは思わなかったです。最後の一行、素直に驚きました。 お姉ちゃんの暴走っぷりがステキ。分からない人には「良く分からない言葉」であればいいのだから、100万人コードは軽がる通貨と考えます。文章的にも上手いし、これはいいなあ。面白かったです。
imt14 9/24 22:3	＞ちよコスもなのはコスも更にはルキノキコス まぁ、こういうのは呪文みたいなものですよ。 しっかりとオチてて、素直に楽しかったです。しかし「男の娘」はメジャーになりすぎた感はありますね。
floccinaucinihilipilification 9/24 23:55	ちょっと腐ったお姉ちゃんが何も分かっていない妹を染めようとする話、かと思いましたがそういうオチでしたか。 あっさりとオチを持ってきたのが逆に良かったと思います。 3分間の時にあんなネタを持ってきた自分が言うのも何ですが、話の一部にネタとしてマンガやアニメのマニアックなネタを持ってくるのは構わないと思います。 それがメインになってしまうと怪しいですが。 「NO PANTS, NOT PANTSU!!」のように解説的な文章はいいと思います。 ちなみにこの作品に登場したキャラたちは自分は名前を聞いたことがあったぐらいで見たことのない作品ばかり、と言い訳しておきます。
カエデ 9/25 0:36	ヒカルさん、可愛い子だなと思ったのに…。

ＴＯＰへ

ひぐらし論

合計ポイント：9 Point
作者：春
作者コメントを読む

実はぶっちゃけて言うと俺は蝉が好きなんですよ。
そう、その中でもひぐらし。これが断トツ。もうぶっちぎり。

別に同意して貰わなくても構わない。でも、もし俺が陪審員とかに選ばれてアブラゼミとひぐらしが木の所有権について争ってたら思わずひぐらし側の意見を尊重しちゃう。というか、もうアブラゼミ側の意見なんか全て却下。控訴とか上告とかも却下。三審制とか知らん。
なんかもうそのくらいひぐらし好きなんですよ。

つーか蝉って、みーんみーん、つくつくほーしつくつくほーし、わーしゃわーしゃとか五月蝿いじゃないですか。
蝉ってさ、土の中で十年くらいいてさ。あーやべ俺成熟してんじゃね、そろそろ土の下で木のすね齧ってるパラサイト生活からおさらばするわ。俺もうマジ大人だし、１０年間の修行の成果見せてやるよ、とか思いながら出てくるわけじゃん。
そんで、外出てくると「やべー子作りしてー！！」とか大声で主張してるわけじゃん。なんか凄いがっつく。周りを誰彼構わず誘いまくってるわけじゃないですか
まぁその気持ちは分からんでも無いから、少しはみんみん五月蝿いのも我慢しないわけではないんですよ。

ただ、そんな中でひぐらしは違う。なにあの鳴き方。

ひぐらしは夕方から「カナカナカナ…カナ……」っていう。
「僕みたいなニートマジ死んだ方がいい……やばい……早く死にたいよう……」みたいなオーラ全開なわけですよ。
いやいや、お前らマジただのパラサイトだったかもしれないけどそれでも一応10年土の中であれこれやって生きてきてその自信のなさは何だ、と。周り見ろよ、もっと元気出そうぜ。生きてることが辛いならいっそ小さく死ねばいいとか間に受けるなよ、まだまだ世の中捨てたもんじゃないぜ。おもわず思う。

でも、騙されるな。あいつらマジ策士。

あんなテイでもちゃんと子供は作る。やることはやる。もうしらーっと、当然のように。おしっこ撒き散らせながら大空飛び回って子供も作る。マジありえん。

そういうわけでひぐらしが最強、マジ皆見習った方がいい。

作品に対するコメントを下さい。

コメント登録

投稿者	コメント
SOta 9/15 10:5	これからはひぐらしを師匠と呼ばせていただきます。
s.o.u.p. 9/15 16:48	能あるタカは爪を隠すってことでいいでしょうか？
ビーフステーキ 9/15 21:24	いやまあ、百万人に通じることは認める。 # クマー
石花 9/16 0:11	釣られたクマー あの五月蝿さが夏の醍醐味！
城山 9/16 16:19	タイトルがミスリード… ひぐらし大好きですね。
カゲヤマ 9/16 22:47	東京って蝉がそれはもう大量にいますよね〜。（道民談） ひぐらしってすごい！
太祖武帝 9/16 22:48	あの「ひぐらし」から本当のひぐらしへのミスリードですか…。確かにあれの鳴き声が聞こえると夏の朝か夕方って感じで風情が出ますよね。でも、ひぐらしたって動物ですからそういう汚い側面もあるんでしょうね！ 夏らしくてよかったと思います。
神代千早 9/17 12:24	ひぐらし好きの程度の測り方が独特に思います。誇張が利いていてよろしいのではないかと。そこから近年の若者の生き方を仮託して軽妙な語調で論を展開するやり方が、勢いがあって押し切られる感じがしました。同意はしませんが、力強い主張でわかりやすいです。
halcyon 9/17 14:33	木の所有権云々は面白い例えですね。本当に好きなんだなぁ、と感心。 確かに、鳴声で誰彼構わず誘惑してるんですよね、蝉って。 この発想は凄い。 ＞太祖武帝さん 汚い側面っていうか、それが自然なんだと思いますが。人間が動物としてイレギュラーすぎるんでは？
未草 9/18 9:28	ヒグラシの声ってちゃんと聞いたことないです・・・。 これ読んだら聞きたくなりました。 「マジ皆見習った方がいい。」がすごく効いてる。
EtOH 9/18 10:31	なんだかひぐらしを好きになれそうですよ。読んでいておもしろかったです。 「生きてることが辛いならいっそ小さく死ねばいい」って森山直太郎ですよね。
greenbard 9/18 12:33	発想のひねくれ方が非常に面白いと思いました。あっちへこっちへとぐるぐるぐるぐるとねじくれる思考回路が、読んでいてすっごく楽しかったです。何よりも、激しく納得してしまったもの。そうかー、ひぐらしってすげぇなー。
ノア 9/19 5:23	蝉が好きなんですよ。から入っていきなりアブラゼミ却下しちゃうあたりが好き。
kate 9/19 9:12	俺もひぐらし好きです.
葉月 9/21 17:2	オチの弱さが……！　三審制とかもう知らんとか、10年間の修行の成果見せてやるよとかあたりまでは面白かったのですが、ひぐらしのことを語り始めてから ちょっと弱いかなあ。ぶっちぎりが足りない。 面白いとは思うのですが、もう少し。
floccinaucinihilipilification 9/24 5:15	クマーと言っておきましょうか。件のひくらしは読んだことないのですが。 「生きてることが辛いならいっそ小さく死ねばいい」好きなフレーズです。 「おもわず思う。」この表現が何か面白かったです。

qofhk 9/24 19:35	あのなき方いいですよねー。 自分のなかでは ひぐらし＞＞ベルリンの壁＞＞つくつくぼうし＞くまー＞油＞劇場版 ですかねー
imt14 9/24 22:22	＞「やべー子作りしてー！！」 こないだそう叫びながら自転車で爆走する中学生を見ましたが、彼は蝉なんでしょうね。
カエデ 9/25 0:32	タイトルが…。 個人的にはヒグラシよりツクツクボウシのほうが好きです。

ＴＯＰへ

『僕と話しても構わないなら、4時に教室に来てください』

合計ポイント：9 Point
作者：s.o.u.p.
作者コメントを読む

「僕と付き合ってください」

　ラブレターの指示通り放課後に教室で待っていると、クラスの男子から告白された。
　私のクラス、いや、学年でも女子から人気がある高橋君。男女問わず彼に話しかける人は多く、彼を中心に話の輪ができる。携帯の電話帳もかなりの件数になっているはず。
　そんな高橋君がラブレターなんて古風な手を使ってきて、しかも中身が清潔そうな便箋と几帳面な字で、熱意があるけど強制しない物言いだった。これが思いのほか好印象。でも、

「どうして？」

口を突いて言葉が出た。

　私はいつも教室の隅で一人で本を読んでいるような女だ。お気に入りの革のブックカバーに文庫本を入れて読んでる本の虫。告白されたのが信じられなかった。彼の気が触れたとしか思えない。

「田中さんが好きだから。その、もっと知りたいし……」

返って来た言葉は堅い。緊張して顔が紅潮しているのが可愛らしい。でも、私が欲しいのはそんな言葉じゃない。

「私が聞きたいのはそうじゃない。なんで『付き合いたい』のかってこと」

「私はいつも一人だし、誰に対してもこんな感じなのは見ててわかるはずだよ。高橋君、いつでも話しかけられるのにわざわざ付き合う必要はある？」

「一緒に帰りたいならそうすればいいし、会いたかったら呼べばいいじゃん。高橋君なら自然にできると思う」

　彼と私は根本的に違う。私と違って外交的でお人好しだし、建前を上手く使う。そんなことを考えてると「僕は……」と彼が口を開いた。さっきより少しだけ声が大きい。

「僕は田中さんのそういうところが好きだよ。誰に対しても自分の思ってることを言える」

「一人でいるのが自由だとは思わないけど、田中さんは一人で自由に生きてると思う。それでいて、無理して一人でいるという感じも受けないし……」

「だから、というわけではないかもしれないけど、田中さんから目が離れないんだ。田中さんを知りたい」

ようやく本音らしいことを言ってくれたけど、そうじゃない。

「どれだけ私のことを好きでいてくれたのかはわかったよ」

少し嬉しそうな顔をしてみる。彼も少し表情が明るくなった。

「でもさ、それで君は何がしたいの？」

驚いた顔をしてる。でも、さっきあれだけ答えてくれたんだから取り合ってくれるはず。

　ちょっと悪いことをしたかもしれない。さっきまでずっと私を見てたのに、今は目を伏せてる。
それでも、視線は少しふらついてから、まっすぐ私を向いた。

「僕は……」

消え入りそうな声が続いた。

「……田中さんに触りたい」

思わず、少し笑う。

「最初からそう言えば良かったのに」

私は歩み寄って、額で軽く彼の胸を叩いた。

作品印刷　　コメント印刷

作品に対するコメントを下さい。

コメント登録

投稿者	コメント
春 9/15 17:58	青春ですねぇ、こういう雰囲気は好きです。 ただ問題は物凄く個人的で申し訳ないのですが、田中さんがどう考えてもいつも本を読んでいるような本の虫に感じられなかったということです。
柚子(ゆうこ) 9/15 23:7	私だったら恥ずかしくて背中か肩でしょうか、真正面は恥ずかしくて無理です。これも私のものすごく個人的な見解ですが、「本の虫が晩生」とは限りません。目立たない分、結構人を観察し対処します。
城山 9/16 0:58	高橋君は本当に田中さんが好きなんだって言うのはよく伝わります。が、結局のところ体目当てな訳？ってちょっと冷めてしまいました。そりゃ田中さんが誘導してますけど。 どんな好青年でも、男ってそう言うものなんですかね。 田中さんはどうしてその言葉が欲しかったんでしょう。
石花 9/16 1:5	なんだかんだいってまんざらでもないんですね。 城山さん、えっと、好きな人に近づきたい、手に触れたい、ぎゅってしたいっていう欲求は体目当てとかそういうのでなくてあるものかとおもいますよ？
城山 9/16 18:8	ごめんなさい。変な下心ではないと分かっていたのに、私情を挟んで捻くれた読み方になってしまったのかも知れません… 好きな人に近付きたいと思う経験は無くもないので、もう少し時期が違えば素直に読めたと思います。 全体の雰囲気は好きですよ。 何にせよ、普通の告白の場で「触りたい」は避けた方が無難でしょう。好きな人に言われたらまた違うのでしょうか。

パンリコ 9/16 19:7	やっぱり４時に教室に行ったのだからこの結末は自然なのでは・・・・・・ 会話で進行する作品は読んでいるだけだと実際に「声」として聞こえてこないので、作者がどんな風にせりふとして言わせたかが読み取れないときがある。 田中さんの口調も男っぽく聞こえてきたり（私の中では）、その割には地の文では本の虫で、内向的のように書かれている。 最後には高橋君をかなり誘導して消え入りそうな声で言わせるなんて！田中さんがいつも読んでいる文庫本の中身は何？
EtOH 9/16 20:43	この誘導は怖いな・・・と読んでいて思ってしまいました。こんな答えを返せた高橋君はすごいなぁと。最後どうやら何事もなくおさまったようで良かったです。 普通ならこうはいかない・・・？え？いく・・・？
カゲヤマ 9/16 22:53	>「でもさ、それで君は何がしたいの？」 って何かと思ったら、よむ人によってはかなり○○な結末じゃないですか！！！ それを女子の方から誘導するなんて・・。 末恐ろしい娘です。
太祖武帝 9/16 23:3	あまりにストレートですね！私みたいなひねくれ者は読みながら滑稽な話または悲劇であることを予想していたのですが… まあ、恋愛っていうものはタイプで決まるようなところがありますからね。多少性格が違っても克服できるんでしょう。そう考えると、人間心理学というのも面白い者ですね。
ノア 9/17 5:13	＞「私が聞きたいのはそうじゃない。 結局何が聞きたかったんだろう。 『付き合う』ことなど大した意味はないと主張したかったのかな。
神代千早 9/17 12:26	タイトルがラブレターの中身なんですね。「僕と付き合ってください」の方かと思って最初見落としました。 文章上は同一人物の連続した発言が、別のかぎ括弧でくくられていたので少々読みにくかったです。理解の妨げになるほどではありませんでしたが。 「……田中さんに触りたい」で納得という展開がいまひとつしっくりきませんでした。主人公の性格をもう少し理知的に据えていたためのようです。観念論に持ち込むタイプなのかと勝手に思ってました。人間の心は難しいものです。
no price 9/17 14:50	高橋君がなんかとっても可愛いですね。 情景が目に見えてくるようです。
halcyon 9/17 14:59	田中さんは、建前とか綺麗事だけじゃない所を言わせたかったんだろうなぁとか思うと、いじらしくて凄く可愛い。 ツンデレの亜種か、それともクーデレってやつか？（あんまり詳しくないので判定不能） こういう誘惑もいいなぁ。
バケネコ 9/17 22:27	恋に恋した故の告白ではなく、「付き合う」という行為をしっかり具体的に認識しての告白であるかどうか…という点を田中さんは確認したかったのだというふうに、僕は読みました。それで出てきた答えが、あまりに思春期男子的な素直さに満ちていたので、『少し笑った』のではないかなと…。そう考えれば、彼女の大人っぷりがよく伝わってきますし。 ＞halcyonさん 僕が分類するなら「素直クール」ですかねー。微妙に違う気もしますが。
s.o.u.p. 9/18 22:33	田中さんがどんな表情をしてたのかが気になりますね。 彼女らがどんな表情で言葉を交わしてたのか、もう少し細かく書いてあれば、この告白の場の緊張した雰囲気が伝わってきたと思います。ラストで緊張を解きほぐす感じを出すためにも必要なことだとも思います。
qofhk 9/24 19:20	「突き合ってください」ってことですね。わかります
floccinaucinihilipilification 9/24 21:2	自分も触れたいとは性的な意味ではなくてもっと純粋な意味で解釈しました。 妙なリアリティがあって読んでいる自分が緊張してしまいそうでした。 でも今後高橋君は田中さんに振り回される日々が始まる気がしてなりません……

ＴＯＰへ

誘惑

　おめでとう２連覇！　な結果でしたが、ご贔屓の作品はどのあたりにランクインしたでしょうか。

　お題は「誘惑」（ほんのり桜色）であって、「欲望」（紅蓮の炎）ではなかったはずなんだけどなあ、が総評、もといつぶやき。
　ま、欲望のままに作品もコメントもいろいろいろいろ花咲かせていただきましたので、その大勢に沿って、まず全体を２大別します。

　　うふんな誘惑 19作品
　　非うふんな誘惑 15作品

要するに、ハートマークが付いた誘惑かそうでないか、ってことで。

で、当然のごとく多数派を占めたハートマーク付きを、さらに２グループに。

　　ステディ編 12作品
　　みさかいない編 7作品

うふんな誘惑

ステディ編

　まずは格調高く神話から。

失楽園異聞　　Centrel　ｏｆ　Audan
　あぁ、そこだけ浮いちゃう！　と、みなさんがおっしゃってる通りR15ポイントがほんとに残念。こまやかに組み立てられた世界が、たった１行で崩れてしまう。まるで、デュピオのよこしまな心が、楽園を崩壊させたように。
　神話の世界だから、個々の登場人物の姿かたち、いわゆるキャラクター付けは茫洋としていてしかたないかも、ですが、創作として再構築する以上、も少し作者さんの思い入れが前面に出たほうが良かったのでは。

　こちらも古風なメルヘン。

テレーゼの唄
　「溜め息一つシャルロッテ」、ラスト１行の溜め息は、ああ、やっとお姉様の思いが叶ったという安堵の溜め息と読みたいなあ。これでサンカクカンケーだったら、シャルロッテ、自分を殺しすぎだもの。
　典雅な言葉のワルツ。ほんのりワインの酔い心地でブロンズメダルのシャルロッテ。あなたにも、いいお相手が見つかりますように。

哺乳類と鳥類の間
　猫とスズメ。メルヘンに見せて、「それまで恋のキューピッドに化けていた『食欲』の真の姿」と、いきなり本質を衝いてきます。「愛とは違う、本能の下に。」そうだったのか。
　ただ、フシブシにあらわれる「猫故の幼さの表れか」「猫でも分かった」といった、人間エライ、猫エラクナイととられかねない表現は、「彼」の悲しみへとフォーカスしてゆく作品の方向性を考えれば、少うし再考

の余地あり、かも。

　そろそろ日常に行きましょうか。幼い順に。
　まずは１歳児。

あなたを待てば雨が降る
　おむつもこもこの恋。かわいらしさは伝わってきましたが、葉月さんもご指摘のように、ミスリードはタネアカシをさらりと切り上げる後味の良さがコツです。お母さま会話を長く続けたところ、改善の余地ありか。

　長じて小学校６年生。

could not receive
　彼に振り回されての拒食症。
　年齢設定がやや幼すぎるかな、というのと、拒食症と過食症は表裏一体だと思うので、彼に拒絶されたら過食症で、失ってしまったら拒食症、という対比が図式としても腑に落ちなかったです。

　中２？

ライン
　兄と妹。どっちがどっち？　ミスリードかそうでないのか。
　いろいろハンパで終わってしまったので、作者さんをお待ちするしかないようで。

最後に僕は泣いて『ごめんなさい』と呟いた　もう伝わることは無いのに
　もひとつ、兄と妹。あーあ、食べちゃった。猫とスズメとおんなじ？
　かきくどくような、という途中の「たい」の連呼が良かったけれど、なぜ食欲なのか、兄の気持ちの輪郭は依然不明瞭なままです。

　ハイスクール・ラヴへ進化。

『僕と話しても構わないなら、4時に教室に来てください』
　わーわーわー。読んでるほうが恥ずかしくなるほど王道ラブコメ夕陽がまぶしい。
　既成のキャラクターに寄り掛からずに、セリフのひとことひとことで二人の人柄を彫り上げていったところが好印象でした。

　そして大学１年生。

なつきさんとの出逢いと別離れ
　島暮らしも終盤、これだけミスリードを読み慣れちゃうとね。「なつき」という両性具有な名前だけで予想が付いてしまいます。さすがに姓だとは思わなかったけど。
　ブログ気分で人生ドラマ。幽霊のふわふわした軽さと文体がきれいにマッチして、顔文字も新鮮で、哀しいのにおかしい、という絶妙ブレンドなお味の仕上がりでした。
　ツル料理長、おみごとアル。４位アル、大慶大慶。

　もひとり大学１年生。

一夜の誘惑
　詩織さん、僕をからかっただけなのか、それとも……？　純愛と読むにはちょっと不安な、もやもや感が残ります。
　りんごのほっぺ、もとい、りんごの唇の僕は、もう追っかけてゆく選択肢しかなさそうですね。そうして一生、振り回されて暮らすのさ♪
　僕のいくじなしっぷりの描写もしっかり描き込まれていて、ストーリーテリングの鮮やかさ、しあわせを予感させる余韻、さすがのマホウ使いさんでした。２連覇おめでとう!!

　こちらも大学生くらいでしょうか。女のねっとりした戦い。

グレーの瞳に射抜かれて

　いじわる久美子に翻弄される美咲ちゃん。慣れぬ枕、ぎゅう詰めの寝屋のなかのねっとりした寝苦しさそのままのこってり描写と、ラストの「いい気味」がまき散らす不快感。
　いや、読後感、悪すぎですって。うまいけど。
　タイトルは要工夫。あっちの気持ち、こっちの策略と交互に揺れ動くのがこの作品の良さなので、片方に寄ったタイトルでないほうが良いのでは。

　ステディ編のラストはハイスピードで駆けぬけて。やっぱりきっと大学生。

世界は誘惑だらけだっぜ
　二次元ワールドを駆けぬける夢、でしょうか。
　「超知将・オブ・ミー」でないと書けませんよね、この、ぜっぜっぜっ、は。型にはまったように見せかけて、なかなかの手練れさん。

みさかいない編

　誰か特定の異性に向けてではなく、不特定多数を相手にフェロモンを振りまき続けるのは、おぉ、ひぐらし以外は、みんな女性でしたね、６作品。

絵の中の海
　カンヴァスの内と外。じつは、たいした違いはないのかもしれない。
　女は月、男は海。満ちては欠け、満ちては引き。永遠のロンドを繰り返す。
　ひとつひとつの事物にこめられた暗喩をていねいに組み立てて、詩的で深い風景を構築していただきました。意識したのは太宰テイスト？　かな。
　しっとりと浸らせてのシルヴァー・メダルです、おめでとう!!

誇り高きネペルタシア
　魔性の女の正体は？
　誘蛾灯あたりだとふつうなのですが、ウツボカズラまで行ったので意外性はありましたね。さいご、わざとらしいセリフでなく、それこそ学名ですきっとしめたら「おぉ！」となったのでは。
　あと、千早さんご指摘のように「曲線」で誘惑するのは不自然なので、香りとかフェロモンとかをもっとこれでもかと発散させてみる、とか。

　虫つながりで。

ひぐらし論
　タイトルからして、あっち世界かと思わせて、マジ策士め！
　説得されてしまいましたよ、みごとに。
　いやしかし、文体変えても、人生観はもろ「春」さんですね。ちゃんとさいごで励まされて、ハッピーな気持ちになっちゃうもん。

　人へ行きます。

誘惑のススメ
　これだけ読み慣れちゃうとね。「ヒカル」という両性具有な名前だけで（以下略）。それを裏切ってくれるかなあと思いきや予想通り。はずんだ文体は良かったけれど、も少しヒカルの気持ちに食い入ってみるなりしたいところ。
　コメント欄でだいじな問題提起がなされてましたが、ネタを入れたことが悪いのではなくて、この作品の場合、他の部分がお約束すぎて（　オリジナリティが足りなくて）、読み手がネタにしか話題性を見出しにくいので、ついついネタトークに走るコメント展開になってしまったのでは。
　ネタでコスプレするのでなく、自分の体をしっかり磨いて、その魅力で誘惑するレディに育ってくださいな、スウィート・ヒカルちゃん。

　パンツ論を二つほど。

NO PANTS, NOT PANTSU!!

パンツがチラっとするとなぜ見てしまうのだろうか

　二人ともっ。罰としてコメント抜きです！「うわぁぁぁぁん」
なんてね。
　ブログ形式を借りたというアイディアが話題とマッチして良く効いてましたね、上のかた。
　話者の分からない座談形式で、妄想が盛り上がるようすを実況できたのがよいですね、下のかた。
　んじゃ。

非うふんな誘惑

禁忌の誘惑
ダメと言われる、あるいはダメと思うととよけいに、という心理へ接近した５作品。

これをクリックしてはいけません。
　タイトルからして誘ってきましたね。するするする、スクロールをさせたあと、始まった論説が、禁忌に引かれるもろもろの事例の列挙に終わってしまって、まとめ損なった感。

やるなよ！ぜっったいやるなよ！！　～THE 日記～
　これもタイトルで誘って、禁忌は必ず破られる、と。
　だんだん壊れていく感じが出ていて、というか、石花さんの作品自体が「夏」以来どんどん壊れ加減が加速しているようで。コメント不能の域に入りました。行ってらっしゃい♪

真っ赤な甘い毒林檎
　禁止の誘惑。うん、うまいうまい！
　読み解いたパンリコさん、ナイスアシストでした。ちょっと気づかないですよね～。

誘惑者
　太るって分かってるんだけどねぇ。
　小悪魔に見えて、じつは里香ちゃん、けっこう、いい子。
　だって、決断する、という人間にとっていちばんツラい場面で手助けしてくれるんだもの。背中をどん、と。
　その里香ちゃんが、自分が決断しなくてはならなくなったときに、自分の表情をどう客観的にイメージするのか、興味しんしん。この感情描写の名手さんの筆で、そんなシーン、見てみたいなあ。

敵は・・・にあり！！
ラスボス・ふとん、たしかに最強。
　あるあると共感を誘うシチュエーション。
　そこに技巧を加えて三大誘惑にしていただきました。はずむ語り口が楽しみながら書いている作者さんの気分を伝えてくれます。

死の誘惑
　これもまた、遠ざけておきたいから引かれる対象ですね。３作品でした。

死の誘惑
　生と死という、とんでもなく大きなものと四つに組んで格闘した痕跡。
　ポジティブに死を願うというスタンスが、もっと論理的にシャープに出てくると、主張として立ったと思うのですが、いかんせん、思いつきの羅列で時間切れになってしまった感。
　とりあえず、段落と段落の間を「そして」か「しかし」か「また」か、接続詞を入れるとしたら何でつなぐかということを意識して組み立ててゆくと、この思考の断片が、形を成してくると思います。
　冒頭１行「閲覧に注意を」は、かえって作品のじゃまをしてませんか？　全然、反社会的でも背徳的でもないですし。

「おやすみ。」

　空白部分は想像力で埋めてください、って、これは何かの創作テスト？
　「もの足りない」の大合唱でしたね。やはりこのままでは作品未満という印象。あと10%というところを抑えて想像にゆだねるのはアリなのでしょうが、これだと描かれた部分のほうが10%しかないような。

とある雑誌社に届いたFAX
　坂崎先生も行ってしまわれたのですか。合掌。
先生、原稿の１行目の「真っ赤な間違い」って何だろう？　と最初いきなりつまずいてしまいましたよ、作家なのに。白血球のたとえも、はまってないし。
　それとも何ですか、私の読解力を試す狂言かなにかですかね、これは。すいませんが、先生のお遊びにつきあってるより休暇のほうがだいじですんで。　by新米編集者

その他
　まだまだあります、いろんな誘惑。

　食欲に負けちゃった。

罠に誘われ
　ピカッと閃光弾。シューと毒ガス。モノモノしくダマしていただきましたが、ダマされたあと、ちとナットクできないフシブシが。そこは詰めておきたかった。
　でも、キャラクターの立ってるのが、この作品の良さ。狼狽しつつもリッパに戦い抜いた曹長さん、あなたこそ、ゴキブリオブゴキブリです！　５位の栄誉、おめでとう！

ジューシーチキン赤とうがらし
　ぬ、タイトルを本文化したな。
　「わざわざ車に乗って」がツボでした。

　眠いよぉ。

そこにある誘惑
　まあ、作者さんがいの一番に自作品に引導渡してるんで、お仕事し過ぎないように、とだけ。

　物欲？

巧妙な罠
　これもコメントアシストに助けてもらった作品でした。
　50人読めば、誰か分かってくれる。そっから広がる共感の輪。この場ならではの作品のありかたですね。UFOキャッチャーばんざい。

CDを買わせろ！
　売れるモノは、よいモノか？
　CDの話からいきなり一般化して、手に負えなくなってしまった感。モノの価値論、どこかにフォーカスしないと、敵が大きすぎます。

虜囚
　これも大敵と格闘。唯我論。むずかしいなあ。
　パラレルワールドを渡り歩く。そんな神通力は不幸なだけ。という展開のようなのですが、こうも説明を積み上げられると、その運命の不条理に浸る前に読み手はいっぱいいっぱいになってしまいそう。

目撃したこと
　実体験ベースなのかなという嘘っぽくないところは良さなのですけれど。
　顔が見えない。特に留学生さんの性別も人柄も何も見えてこない。だから、水上バスの上で演じられる影絵のようにインパクト薄く感じられてしまいました。

　ラストはかわゆく。

かまって欲しいの
　猫。「あぁっ可愛い！今の良い！」に、とても気持ちが乗っていました。
　前段のすりすり描写が、レイアウトともども、すてきにリアルでインパクトがあるので、後半をもっとシンプルにして、「私を何回遅刻させれば気が済むのよ！この小悪魔ぁ！」なんていう説明っぽいセリフはいっそ省いてしまったほうが、より猫パワー全開の仕上がりになったのでは。

　さあ、あとは「とろん」と「！」だけです。やり残したことのないように。ＧＯ！